よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2511 受付時間 月～金：9:00～18:00 土・日・祝日：9:00～17:00	フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。 受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「402」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

Imprimé sur papier recyclé à 70 % ou plus avec de l'encre à base d'huile végétale sans COV (composés organiques volatils).

Printed in Japan

SONY

3-285-951-**03**(1)

フラッシュ / Flash

取扱説明書 / Operating Instructions / Mode d'emploi

HVL-F42AM

JP

GB

FR

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠危険 安全のために （48～50ページも合わせてお読みください。）

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に修理を依頼する**
- **万一、異常が起きたら**

本機が熱くなり
変な音、変なにおい、煙が
出たら

❶本機の電源を切る。

❷電池をはずす。

❸ソニーの相談窓口に修理を依頼する。

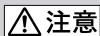
警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

感電

火災

行為を禁止する記号

ぬれ手禁止

禁止

分解禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

目次

準備

基本撮影

応用撮影

その他

JP

お使いになる前に必ずお読みください

本取扱説明書とあわせて、お使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。

本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません

置いてはいけない場所

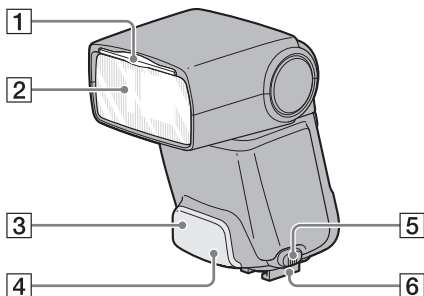
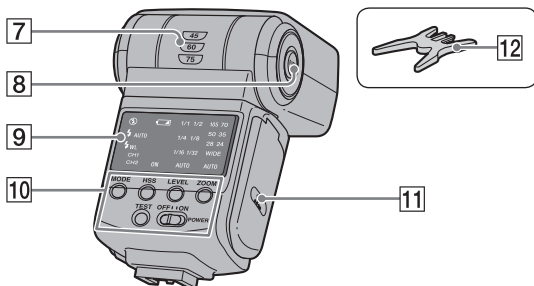
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

主な特長

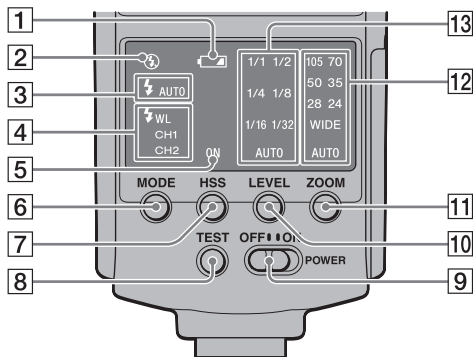
- ガイドナンバー 42（105mmレンズ・ISO 100・m）のコンパクトなフラッシュです。
- 対応レンズとの組み合わせで、背景や被写体の反射率に左右されず良好な調光が得られるADI調光も可能です。
- ワイヤレスでのハイスピードシンクロ撮影が可能です。
- バウンス撮影、マニュアルフラッシュ撮影など、多様な機能を備えています。
- フラッシュ発光時の内蔵ワイドパネル使用により、レンズ表示広角16mmまでの焦点距離に対応しています。
- 色温度情報からホワイトバランスを自動補正します。*
- カメラのイメージャサイズに合わせて最適な照射角に自動調整します。*

* ソニー製デジタル一眼レフカメラご使用時（DSLR-A100を除く）

各部の名前

1 内蔵ワイドパネル（19ページ）
2 発光部
3 ワイヤレス信号受光部（30ページ）
4 AF補助光発光部（25ページ）
5 フラッシュ取りはずしボタン（9ページ）
6 オートロックフット（9ページ）

7 バウンス角度表示（22ページ）
8 バウンスロック解除ボタン（22ページ）
9 表示部（6ページ）
10 操作部（6ページ）
11 電池室ふた（7ページ）
12 ミニスタンド（32ページ）

ご使用前に本機前面部の保護シートをはがしてください。

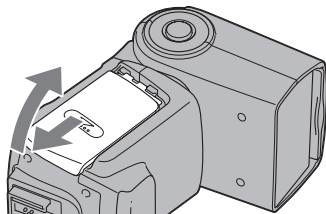
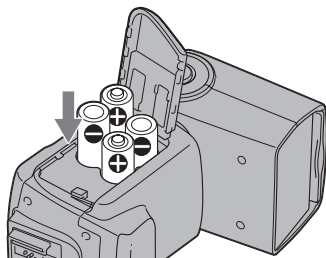
次ページにつづく

表示部/操作部の名前

1 電池警告ランプ(8ページ)
2 発光OFFランプ(11ページ)
3 発光ONランプ(11ページ)
4 ワイヤレス発光ランプ
(30ページ)
5 HSSランプ(28ページ)
6 MODEボタン(11ページ)
7 HSSボタン(28ページ)
8 TESTボタン(21ページ)
オレンジ：充電完了
緑：調光OK
赤：オーバーヒート
9 POWERスイッチ (10ページ)
10 LEVELボタン(20ページ)
11 ZOOMボタン(17ページ)
12 ZOOMランプ(17ページ)
13 LEVELランプ(20ページ)

電池の入れかた

以下のいずれかの電池を使用します。
電池は同梱していません。

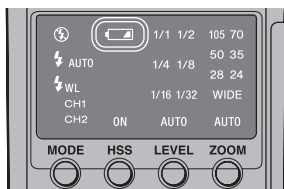
- 単3形アルカリ乾電池 4本
- 単3形ニッケル水素電池(Ni-MH) 4本
  ニッケル水素電池は、必ず指定の充電器で完全に充電してからお使いください。

1 電池室ふたを図の方向に押して開ける。

2 電池室の表示にしたがって電池を入れる。

3 電池室ふたを閉める。

- 開けるときと反対の手順に沿ってください。

次ページにつづく

電池残量のチェック

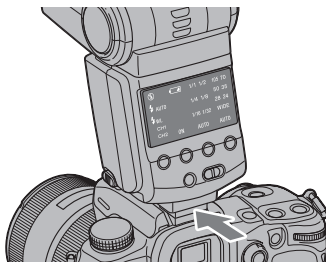
電池の残量が少なくなると、表示部の電池警告ランプが点滅します。

ランプが点滅したら、電池の交換をおすすめします。この状態でも、テストボタンがオレンジに点灯したら、本機は発光可能です。

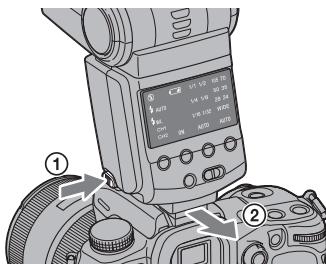
- 本機のPOWERスイッチをONにしても、表示部のランプが何も点灯しないときは、電池の向きを確認してください。
- 電池警告ランプのみが点滅を繰り返すときは、新しい電池と交換してください。

カメラへの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

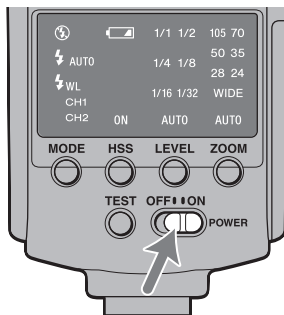
本機の電源を切った状態で、オートロックフットを、矢印方向に止まるまでしっかり差し込む。

- 自動的にロックされます。
- カメラの内蔵フラッシュが上がっているときは、下げてから取り付けてください。

取りはずしかた

フラッシュ取りはずしボタンを押しながら①、本機を取りはずす②。

電源を入れる

POWERスイッチをONにする。

本機の電源が入ります。

- 電源が入ると表示部のランプが点灯します。

電源を切るには

POWERスイッチを矢印の方向にずらし、「OFF」にします。

パワーセーブ

カメラまたは本機を3分以上操作しないでいると、節電のため自動的に電源が切れ、表示が消灯します。

- ワイヤレスフラッシュ撮影時（30ページ）は60分で表示が消灯します。
- パワーセーブまでの時間を変更する、またはパワーセーブの作動を禁止することもできます（36ページ）。
- カメラのPOWERスイッチをOFFにすると連動して、本機はパワーセーブになります。*

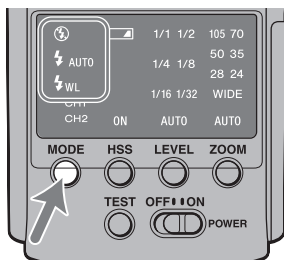
  * ソニー製デジタル一眼レフカメラご使用時（DSLR-A100を除く）

発光モードの切り換え

MODEボタンを押す。

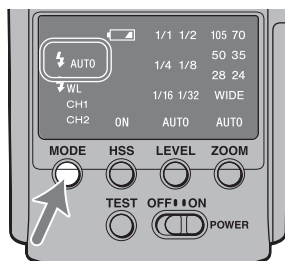
- 以下のように表示部の表示が変わります。*

  ϟ (ϟ AUTO) → ϟ WL → (ϟ) → ϟ (ϟ AUTO) → ･･･

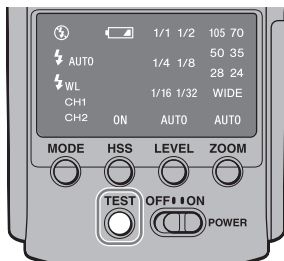
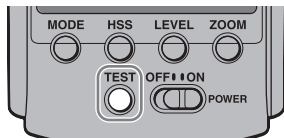
  * カメラ未接続時

- カメラの設定が自動発光の場合、発光ONランプ「ϟ AUTO」が点灯します。強制発光の場合は、発光ONランプ「ϟ」のみが点灯します。

基本的な撮影（プログラムオート（P）フラッシュ撮影）

1 カメラの撮影モードをPモードにする。

2 MODEボタンを押して、発光ONランプ「ϟ AUTO」または「ϟ」を点灯させる。

- カメラの設定が自動発光の場合、発光ONランプ「ϟ AUTO」が点灯します。強制発光の場合は、発光ONランプ「ϟ」のみが点灯します。

3 本機の充電が完了したら、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

- 本機は操作部のTESTボタンがオレンジに点灯したら、カメラはファインダー内の ⚡ が点灯したら、充電完了です。

撮影後、適正露出が得られたときには、本機操作部のTESTボタンが緑に点滅します。

- 充電が完了する前に撮影すると、発光が足りず露出アンダーになることがあります。
- セルフタイマーでフラッシュ撮影を行うときは、充電完了を確認してからシャッターボタンを押し込んでください。
- オートモードやシーンセレクションのあるカメラでは、それらのモードはここではプログラムモードとして扱っています。
  また、自動発光(⚡ AUTO)、強制発光(⚡)、強制発光禁止(⚡)のどれが選ばれるかは、カメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

次ページにつづく

- フラッシュ光の届く範囲(調光距離範囲)については以下のとおりです。さらに詳しい情報については41ページをご覧ください。

マニュアルフラッシュ撮影/35mm判画角時

ISO100		焦点距離(mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
絞り値(F)	2.8	1-4.5	1-8	1-8	1-8.5	1-10.5	1-12.5	1-15
	4	1-3	1-5.5	1-5.5	1-6	1-7.5	1-8.5	1-10.5
	5.6	1-2	1-4	1-4	1-4.5	1-5	1-6	1-7.5

(単位:m)

ISO400		焦点距離(mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
絞り値(F)	2.8	1-9	1-16	1-16	1-17	1-21	1-25	1.2-30
	4	1-6	1-11	1-11	1-12	1-15	1-17	1-21
	5.6	1-4	1-8	1-8	1-9	1-10	1-12	1-15

(単位:m)

APS-C画角時

ISO100		焦点距離(mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
絞り値(F)	2.8	1-4.5	1-8.5	1-9	1-10.5	1-12.5	1-13.5	1-15
	4	1-3	1-6	1-6.5	1-7.5	1-8.5	1-9.5	1-10.5
	5.6	1-2	1-4.5	1-4.5	1-5	1-6	1-6.5	1-7.5

(単位:m)

ISO400		焦点距離(mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
絞り値(F)	2.8	1-9	1-17.5	1-18.5	1-21	1-25	1-27	1.2-30
	4	1-6	1-12.5	1-13	1-15	1-17	1-19	1-21
	5.6	1-4	1-8.5	1-9	1-10	1-12	1-13	1-15

(単位:m)

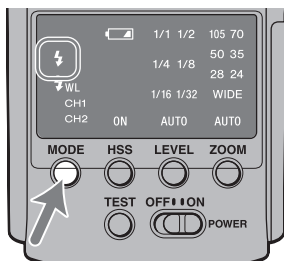
* ワイドパネル装着時の照射角です。

各撮影モードでの撮影

カメラの各撮影モードでの本機の使い方を説明します。

絞り優先フラッシュ撮影(A)

1 カメラの撮影モードをAモードにする。

2 MODEボタンを押して、発光ONランプ「ϟ」を点灯させる。

- 本機は強制発光となります。

3 絞り値を設定し、ピントを合わせる。

- 絞りを絞り込む(絞り値を大きくする)と調光距離は短く、開放側にする(絞り値を小さくする)と長くなります。
- シャッタースピードは自動的に設定されます。

4 充電が完了したら、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

次ページにつづく

シャッタースピード優先フラッシュ撮影(S)

1 カメラの撮影モードをSモードにする。

2 MODEボタンを押して、発光ONランプ「ϟ」を点灯させる。
- 本機は強制発光となります。

3 シャッタースピードを設定し、ピントを合わせる。

4 充電が完了したら、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

マニュアルモードフラッシュ撮影(M)

1 カメラの撮影モードをMモードにする。

2 MODEボタンを押して、発光ONランプ「ϟ」を点灯させる。
- 本機は強制発光となります。

3 絞り値とシャッタースピードを設定し、ピントを合わせる。
- 絞りを絞り込む(絞り値を大きくする)と調光距離は短く、開放側にする(絞り値を小さくする)と長くなります。

4 充電が完了したら、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

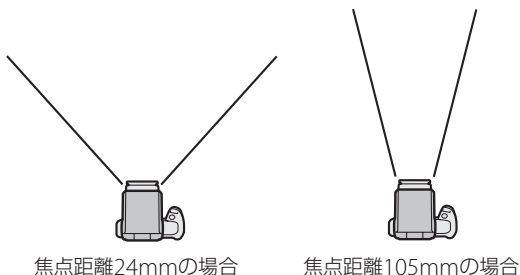
照射角の切り換え

照射角自動切り換え（オートズーム）

本機では、24mm～105mmの範囲で撮影中のレンズの焦点距離に対応し、照射角を自動で最適に切り換えます（オートズーム）。通常は手動で照射角を切り換える必要はありません。

ZOOMランプ「AUTO」が緑に点灯しているときはオートズームが働いています。ZOOMランプ「AUTO」が点灯しているときは表示部の照射角は表示されません。

焦点距離24mmの場合

焦点距離105mmの場合

- オートズームの状態で焦点距離24mm未満のレンズを使用するとZOOMランプ「WIDE」が点滅します。ワイドパネル（19ページ）の使用をおすすめします。そのまま撮影すると、画面周辺が暗くなることがあります。

画面サイズ最適化ズーム制御機構

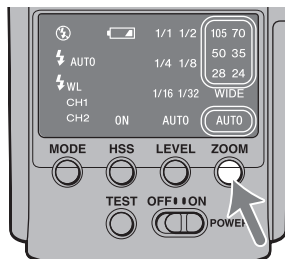
本機は、ソニー製デジタル一眼レフカメラ（DSLR-A100を除く）に装着し、使用することでカメラのイメージャサイズ（APS-C/35mm判）に応じて照射角を最適に設定します。

次ページにつづく

照射角手動切り換え（マニュアルズーム）

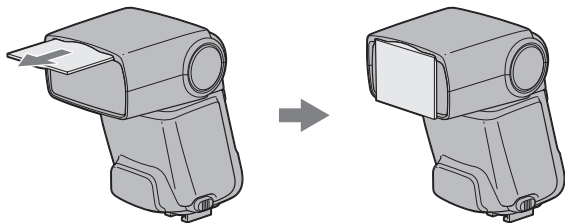
使用中のレンズの焦点距離にかかわらず、手動で照射角を設定することもできます（マニュアルズーム）。

ZOOMボタンを押して、設定したい照射角を選ぶ。

- 以下の範囲で照射角が切り換わります。
  105 → 70 → 50 → 35 → 28 → 24 → AUTO → 105 → ･･･

- 使用中のレンズの焦点距離より狭い照射角（望遠側）を設定すると、画面周辺が暗くなります。
- マニュアルズーム時のズームランプ表示における照射角は、35mm判換算焦点距離の画角に対応した角度となります。

内蔵ワイドパネル(16mmの焦点距離に対応)

内蔵ワイドパネルを引き出すと、16mmまでの焦点距離に対応します。

パネルを持って引き出す。

- 表示部のZOOMランプ「WIDE」が点灯します。
- パネルを収納する際は、奥まできっちり押し込んでください。
- ワイドパネルを強い力で引き出さないでください。ワイドパネルを破損させる恐れがあります。
- 焦点距離16mm付近で平面被写体を正面から撮影する場合、画面中央部と周辺部で撮影距離が異なるため、画面周辺が若干暗くなることがあります。
- 焦点距離が16mmより広角のレンズを使用すると、画面周辺が暗くなることがあります。
- 焦点距離は35mm判換算焦点距離となります。
- 16mm F2.8 Fisheyeレンズの画角には対応しておりません。

照射角と焦点距離

カメラレンズは、焦点距離の数値が大きくなるにしたがって遠くのものでも画面いっぱいに撮影できるようになりますが、一方で撮影できる範囲が小さくなります。逆に焦点距離の数値が小さくなるにしたがって近くのものを撮影できる範囲が広くなります。照射角とは、フラッシュの光がある一定の明るさ以上にムラなく照射される範囲を角度で表したものです。このように焦点距離によって撮影できる照射角も決まってきます。
焦点距離に連動して照射角が決まることから、照射角は焦点距離の数値で示されることがあります。

光量レベルの切り換え（LEVEL）

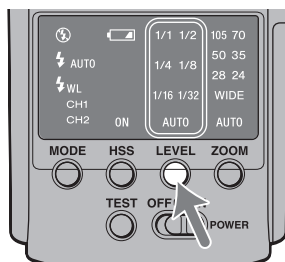
オートフラッシュ撮影

表示部のLEVELランプ「AUTO」が点灯しているときのフラッシュ撮影では、自動で調光します。

マニュアルフラッシュ撮影

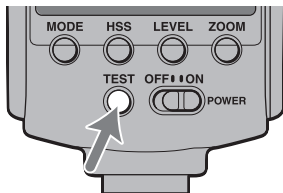
本機の発光量を切り換えることができます。

LEVELボタンを押して、設定したい光量レベルを選ぶ。

- 以下の範囲で光量レベルが切り換わります。
  1/1 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 1/32 → AUTO → 1/1 → ・・・

- マニュアルフラッシュ撮影では、1/1を最大発光量として、お好みのレベルに調光できます。光量レベル1段（例：1/1→1/2）は、絞り値1段（例：F4→5.6）に相当します。
- カメラのマニュアルモード以外で光量レベルを変更する場合は、カスタム設定を変更してください。（36ページ）
- マニュアルフラッシュ撮影について、詳しくは26ページをご覧ください。

テスト発光

撮影前に、本機をテスト発光させることができます。マニュアルフラッシュ撮影(M)時にフラッシュメーター等をお使いの際には、テスト発光を行い確認してください。

TESTボタンがオレンジに点灯したら、TESTボタンを押す。

- テスト発光時の光量はLEVEL設定されている数値に依存します。

テストボタンについて

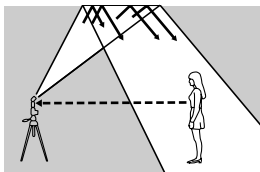
TESTボタンは状態に応じて下記のように点灯します。

- オレンジ：充電完了
- 緑：調光OK
- 赤：オーバーヒート*

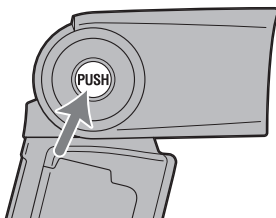
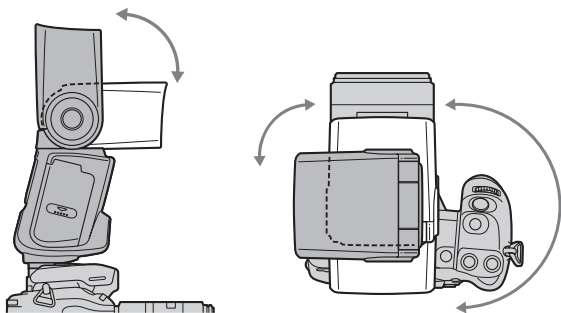
* オーバーヒートとは、連続発光および、高温環境下での使用時、本機の温度が上昇すると、自動的に発光動作が停止する機能です。

- オーバーヒートを検出すると、TESTボタンが1秒間隔で、赤色に点滅します。
- 温度が低下するまで、発光動作が停止します。
- オーバーヒート状態になった場合には、本機の温度を下げていただくため、10分間ご使用を休止して下さい。

バウンス撮影

被写体のすぐ後ろに壁があるときに本機を発光させると、壁に強い影ができてしまいます。このような場合に発光部を天井などに向けて発光させ、その反射光によって被写体を照明すると、強い影がなくなり、画面全体に光の回ったやわらかい写真が撮れます。

バウンス撮影

通常のフラッシュ撮影

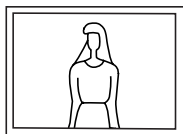
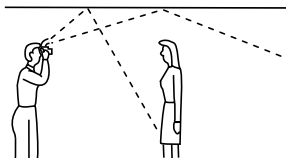
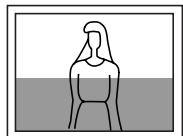
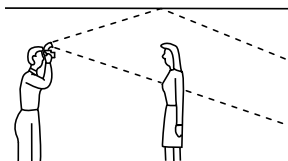
バウンスロック解除ボタンを押しながら、発光部を上方向または左右に回転させる。

フラッシュ発光部は、以下の角度で回転することができます。

- 上方向：45°、60°、75°、90°
- 右方向：30°、45°、60°、75°、90°、120°、150°、180°
- 左方向：30°、45°、60°、75°、90°

- ロックは正位置（0°）でのみかかります。元の位置に戻すときは、バウンスロック解除ボタンを押す必要はありません。
- フラッシュ発光部を上方向または左右方向に回転させると、ハイスピードシンクロ（28ページ）も解除されます。
- フラッシュ光を反射させる面（天井や壁）は、白に近いものをおすすめします。反射面が白以外のときは、反射したフラッシュ光が色の影響を受けることがあります。高い天井や、ガラスなどはおすすめできません。

次ページにつづく

バウンス角度の調整

本機の直接光とバウンス光が同時に画面に入ると、照明ムラの原因となります。反射させる面までの距離、撮影距離、使用レンズの焦点距離などを考慮に入れて角度を決めてください。

上方向にバウンスさせる場合

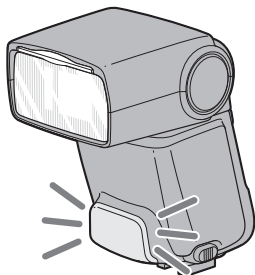
下の表を参考に角度を決めてください。

使用レンズの焦点距離	バウンス角度
70mm以上	45°
28～70mm	60°
28mm以下	75°、90°

左右にバウンスさせる場合

90°回転させて真横でバウンスすることをおすすめします。90°よりも狭い角度にするときは、本機の直接光が被写体に当たらないようにしてください。

AF補助光

被写体が暗いときやコントラスト（明暗差）が小さいときは、シャッターボタン半押し等オートフォーカスでピントを合わせる際、本機前面の赤いランプが光ることがあります。これは、オートフォーカスでピントを合わせやすくするためのAF補助光です。

- AF補助光は、発光OFFランプ「(発光OFFアイコン)」が点灯していても発光します。
- 本機のAF補助光が発光するときは、カメラのAF補助光は発光しません。
- フォーカスモードがコンティニュアスAFの状態になっているとき（動いているものにピントを合わせ続けている場合）は、AF補助光は発光しません。
- レンズの焦点距離が300mm以上のときは、AF補助光は発光しないことがあります。本機をカメラから離しているときも発光しません。

マニュアルフラッシュ撮影（M）

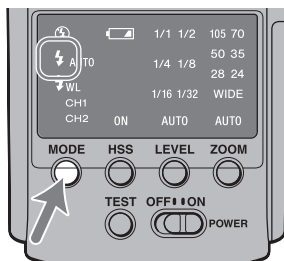
通常のTTLフラッシュ撮影では、被写体が適正露出になるように本機の発光量が自動的に調整されます。マニュアルフラッシュ撮影にすると、被写体の明るさやカメラの設定に関係なく、常に一定の発光量を得ることができます。

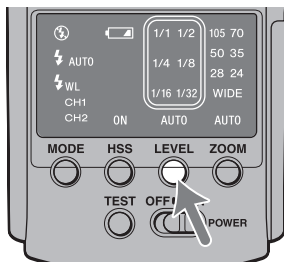
- マニュアルフラッシュ撮影は、カメラのM（マニュアル）モードでのみ可能です。Mモード以外で行うと、自動的にTTLフラッシュ撮影に切り換わります。
- 被写体の反射率に影響されないため、反射率が極端に高いものや低いものを撮影するときに便利です。

TTLフラッシュ撮影

マニュアルフラッシュ撮影

1 カメラをMモードに設定する。

2 MODEボタンを押して、表示部に発光ONランプ「ϟ」を表示させる。

3 LEVELボタンを押して、設定したい光量レベルを選ぶ。

- 以下の範囲で光量レベルが切り換わります。
  1/1 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 1/32 → 1/1 → ･･･
- 光量レベルの設定について、詳しくは41ページをご覧ください。

- マニュアルフラッシュ撮影では、設定した光量レベルで発光されるため、撮影後にTESTボタンの調光確認表示（緑に点滅）はありません。
- カスタム設定により、カメラをMモードにしなくてもマニュアルフラッシュ撮影の設定を可能にすることができます（36ページ）。

TTLフラッシュ撮影

マニュアルフラッシュ撮影が常に決まった光量レベル（発光量）で発光するのに対し、TTL*フラッシュ撮影では、レンズを通って来た被写体からの光を測光し、それに従って発光量を決めます。
カメラによっては、TTL調光にプリ発光を加えたP-TTL調光や、それにさらに距離情報を加味したADI調光が可能な場合もあります。
本機ではそれらも含めてすべてTTLフラッシュ撮影と定義し、本機表示部のLEVELランプ「AUTO」でAUTOが点灯します。

* TTL=Through the lensの略

- ADI調光は、距離エンコーダー内蔵レンズとの組み合わせでのみ可能です。ADI調光機能をご使用の際は、ご使用のレンズが距離エンコーダー内蔵であることをレンズの取扱説明書の「主な仕様」でご確認のうえ、ご使用ください。

応用撮影

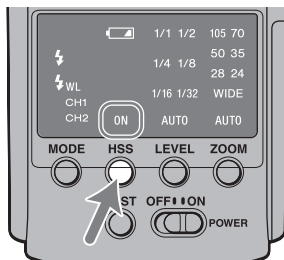
ハイスピードシンクロ撮影（HSS）

ハイスピードシンクロ撮影

通常のフラッシュ撮影

ハイスピードシンクロ撮影にすると、フラッシュ同調速度の制限がなくなり、カメラの持つシャッタースピード全域でのフラッシュ撮影ができるようになります。絞り値の選択幅が広がるので、絞りを開けて背景をぼかして、前の被写体がより引き立つ写真を撮ることができます。またカメラのAモードやMモードで開放側の絞り値でフラッシュ撮影をするとき、背景が非常に明るくて通常は露出オーバーとなるようなシーンでも、高速シャッターを使って適正露出にすることができます。

HSSボタンを押す。

- HSSランプが点灯します。

- 同調速度より高速側のシャッタースピードに設定した場合、ハイスピードシンクロ撮影に自動的に設定されます。同調速度はカメラによって異なりますので、ご使用のカメラの取扱説明書をご覧ください。
- もう一度HSSボタンを押すと、ハイスピードシンクロ撮影は解除されます。解除すると、同調速度より高速側のシャッタースピードは設定されません。
- 明るい場所での撮影をおすすめします。
- バウンス撮影でのハイスピードシンクロ撮影はできません。
- フラッシュメーターやカラーメーターを使用する場合は、適正露出が得られないためハイスピードシンクロ撮影はできません。

フラッシュ同調速度
一般的にフラッシュ撮影時には、これ以上の速度で撮影できないという限界のシャッタースピード（フラッシュ同調速度）があります。ハイスピードシンクロ撮影（28ページ）の可能なカメラでは、この同調速度の制限はなくなり、カメラの持つ最速のシャッタースピードでのフラッシュ撮影が可能です。

ワイヤレスフラッシュ撮影(WL)

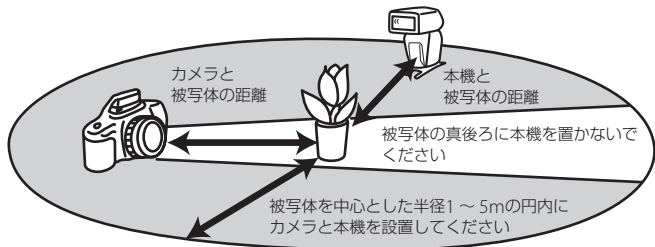
本機をカメラに取り付けて撮影すると、写真①のように平面的な写真になることがあります。このようなとき、本機をカメラから取りはずして撮影すると、本機の位置を工夫することで、陰影を付けて立体感を出すことができます(写真②)。
一眼レフカメラでこのような撮影をするときには、カメラとフラッシュをコードで接続しなければならないことが多いのですが、本機では、カメラとの信号の伝達をコードではなく、カメラの内蔵フラッシュの光を使用して行うため、コードがなくてもこのような撮影ができます。露出はカメラが自動で適正露出になるよう制御します。

通常撮影

ワイヤレスフラッシュ撮影

ワイヤレスフラッシュ撮影の距離範囲

ワイヤレスフラッシュは、内蔵フラッシュの発光を信号光として、カメラから離した本機を発光させます。信号光が正しく受け取れるよう、カメラ・本機・被写体を設置してください。

- 室内など暗いところで撮影してください。
- 本機のバウンス機能（22ページ）を利用してワイヤレス信号受光部をカメラに向けると、カメラの内蔵フラッシュの信号光が受け取りやすくなります。
- 下図の灰色の部分にカメラから離した本機を設置してください。

- 調光可能距離について、詳しくは14ページまたは41ページをご覧ください。

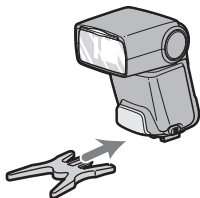
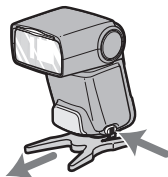
次ページにつづく

ワイヤレスフラッシュ撮影時の注意

- ワイヤレスフラッシュ撮影時は、撮影直前にカメラの内蔵フラッシュが一度発光するため、フラッシュメーター、カラーメーターでの測定はできません。
- 本機の照射角は、自動的に24mmになります。24mm以外はおすすめできません。
- 撮影会などで近くにワイヤレスフラッシュ撮影をしている人がいると、その人の内蔵フラッシュ等の信号光により、本機が発光してしまうことがあります。このような場合は、カスタム設定で「CH1」か「CH2」のチャンネルを選択することができます（36ページ）。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時に、まれに周囲の静電気や電磁波ノイズによって誤発光する場合があります。
  使用しないときは、MODEボタンを押して発光OFFランプ「⚡」を選んでください。

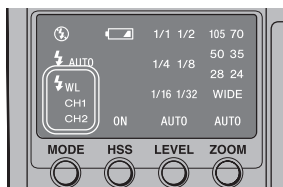
ミニスタンドの取り付け、取りはずしかた

- 本機をカメラから離したときは、付属のミニスタンドをご使用ください。
- ミニスタンドの三脚用ネジ穴で、三脚に取り付けることも可能です。

取り付けかた

取りはずしかた

ワイヤレスフラッシュ撮影方法

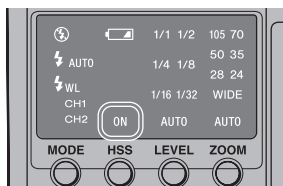
1 本機をカメラに取り付け、本機とカメラの電源をONにする。

2 カメラをワイヤレスフラッシュに設定する。

- 設定方法はカメラによって異なります。カメラの取扱説明書をご覧ください。
- カメラをワイヤレスに設定すると、本機も自動的にワイヤレス設定になり、表示部のワイヤレス発光ランプ「⚡WL CH1」か「⚡WL CH2」のどちらかが点灯します。
- 本機のワイヤレスのチャンネル設定でチャンネル1が選択されているときは「⚡WL CH1」、チャンネル2が選択されているときは「⚡WL CH2」が点灯します。チャンネルを切り換える場合は、36ページをご覧ください。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時でも発光レベルを切り換えることができます。詳しくは36ページをご覧ください。

3 本機をカメラから取りはずし、カメラの内蔵フラッシュを上げる。

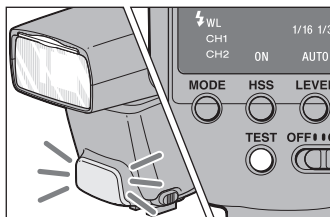
- カメラから取りはずすと、HSSランプが点灯します。

次ページにつづく

応用撮影

4 カメラと本機を設置する。

- 室内など暗いところに設置してください。
- 設置方法は31ページをご覧ください。

5 内蔵フラッシュと本機の充電完了を確認する。

- 内蔵フラッシュは、充電完了時にはファインダー内の ⚡ が点灯します。
- 本機は、ワイヤレスフラッシュ撮影をしている場合の充電完了時には前面のAF補助光が点滅し、TESTボタンがオレンジに点灯します。

6 テスト発光を行い、本機の発光を確認する。

- テスト発光の方法は、カメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 発光しない場合は、カメラ・本機・被写体の配置場所を変えてください。

7 もう一度内蔵フラッシュと本機の充電完了を確認し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

本機単独でワイヤレスに設定する場合

本機をカメラに取り付けてワイヤレス設定を行った際に、本機のチャンネル情報はカメラに伝えられています。そのため本機のチャンネルを変えずに同一カメラと本機を使い続ける場合は、次からはカメラと本機を別々にワイヤレスに設定することもできます。

カメラ側：

ワイヤレスに設定する。

操作方法はカメラの取扱説明書をご覧ください。

本機側：

MODEボタンを押し、ワイヤレス発光ランプ「ϟ WL CH1」か「ϟ WL CH2」のどちらかを点灯させる。

チャンネルを切り換える場合は、36ページをご覧ください。

WB自動補正機能

ソニー製デジタル一眼レフカメラ（DSLR-A100を除く）とご使用いただくことによって、フラッシュ発光時の色温度情報からホワイトバランスを自動補正します。

- カメラとのクリップオン接続でTTLフラッシュ撮影時に機能します。

応用撮影

カスタム設定

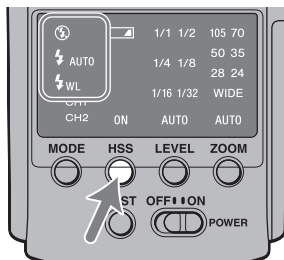
本機の各種設定を、お好みの状態に変更することができます。
以下の5つの項目の変更が可能です。

- ワイヤレスのチャンネル切り換え（CH1 ／ CH2）
- パワーセーブまでの時間（30秒／ 3分／ 30分／なし）
- ワイヤレスフラッシュ時のパワーセーブまでの時間（60分／なし）
- マニュアルフラッシュが設定できる撮影モード
- LEDの明るさの設定（明／暗）

カスタム設定を行う

カスタム設定は下記の流れで行います。

1 本機の電源を入れた状態で、HSSボタンを3秒間押し続ける。

- 表示部の発光OFFランプ「⚡」、発光ONランプ「⚡ AUTO」、ワイヤレス発光ランプ「⚡ WL」 が点滅し、各カスタム設定が可能な状態となります。

2 各種設定を変更する。

設定方法は37ページの「カスタム設定の変更」をご覧ください。

3 HSSボタンを押して、カスタム設定を終了する。

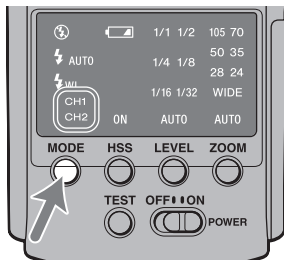
- 選択された設定は、本機の電源をOFFにした場合や電池を抜いた場合でも保持されます。

カスタム設定の変更

各カスタム設定を変更する方法を説明します。

ワイヤレスのチャンネル設定を変更するには

MODEボタンを押して、設定したいチャンネルを選ぶ。

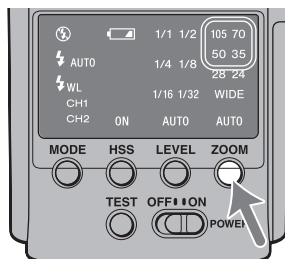
- MODEボタンを押すごとにCH1→CH2→･･･と表示が切り換わります。

- 本機のチャンネルを変更したあとは、一度カメラに取り付けてシャッターボタンを半押ししてください。

次ページにつづく

パワーセーブ時間を変更するには

本機のパワーセーブまでの時間を変更することができます。

ZOOMボタンでパワーセーブまでの時間を選ぶ。

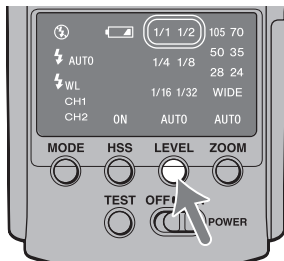
- ZOOMボタンを押すごとに105→70→50→35→･･･と表示が切り換わります。表示と設定時間については下記の表を参照してください。

ランプ表示	パワーセーブまでの時間
105	30秒（60分）
70	3分（60分）
50	30分（60分）
35	なし

（　）内はワイヤレスフラッシュ時

- 本機がワイヤレスフラッシュに設定されているときは、他の発光モードの場合とパワーセーブまでの時間が異なります。
  パワーセーブの時間を「105」（30秒）から「35」（なし）に変更した場合、ワイヤレスフラッシュ時のパワーセーブの時間も自動的に「60分」から「なし」に変更されます。

マニュアルフラッシュ撮影（M）ができる撮影モードを変更するには

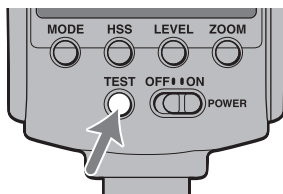
LEVELボタンを押して、マニュアルフラッシュ発光が設定できる撮影モードを選ぶ。

- LEVELボタンを押すごとに1/1→1/2→・・・と表示が切り換わります。
  1/1：（カメラ Mモードのみ）
  1/2：（カメラ 全モード可能）
- 光量レベルについて、詳しくは20ページをご覧ください。

- 「1/2（カメラ 全モード可能）」を選ぶと、すべての撮影モードでマニュアルフラッシュ撮影が可能となります。Mモード以外で撮影を行うと正しい露出が得られない場合がありますので、Mモードでの使用をおすすめします。

LEDの明るさを変更するには

表示部のランプの明るさを2段階に調節できます。

TESTボタンを押して、ランプの明るさを選ぶ。

- TESTボタンを押すごとに、明→暗→･･･の順に切り換わります。

- カスタム設定が変更できる状態であることを確認してから、テストボタンを押してください。
  カスタム設定以外の状態では、本機がテスト発光で動作しますのでご注意ください。

調光距離範囲

通常（閃光）発光時

プログラムオート（P）撮影やマニュアルフラッシュ（M）撮影時などの通常撮影時の正確な調光距離範囲は、下記のガイドナンバー表とISO感度係数により求めることができます。

ガイドナンバー

マニュアルフラッシュ撮影/35mm判画角時（ISO 100）

光量レベル	レンズ焦点距離（照射角）mm						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/1	13	23	23	25	30	35	42
1/2	9.2	16.3	16.3	17.7	21.2	24.7	29.7
1/4	6.5	11.5	11.5	12.5	15.0	17.5	21.0
1/8	4.6	8.1	8.1	8.8	10.6	12.4	14.8
1/16	3.3	5.8	5.8	6.3	7.5	8.8	10.5
1/32	2.3	4.1	4.1	4.4	5.3	6.2	7.4

* ワイドパネル装着時の照射角です。

APS-C画角時（ISO 100）

光量レベル	レンズ焦点距離（照射角）mm						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/1	13	25	26	30	35	38	42
1/2	9.2	17.7	18.4	21.2	24.7	26.9	29.7
1/4	6.5	12.5	13.0	15.0	17.5	19.0	21.0
1/8	4.6	8.8	9.2	10.6	12.4	13.4	14.8
1/16	3.3	6.3	6.5	7.5	8.8	9.5	10.5
1/32	2.3	4.4	4.6	5.3	6.2	6.7	7.4

* ワイドパネル装着時の照射角です。

ISO感度係数

ISO 100	ISO 200	ISO 400	ISO 800	ISO 1600	ISO 3200
1	1.4	2	2.8	4	5.7

撮影距離範囲 ＝ ガイドナンバー × ISO感度係数 ÷ 絞り値

例）マニュアルフラッシュ撮影/35mm判画角、光量レベル1/1、焦点距離35mm、絞り値F4、ISO400の場合
ガイドナンバー 25 × ISO感度係数2 ÷ 絞り値4により、フラッシュ光は12mまで到達します。

ハイスピードシンクロ(フラット)発光時

ハイスピードシンクロ撮影時は、通常のフラッシュ撮影よりも調光距離範囲が短くなります。正確な調光距離範囲は、下記のガイドナンバー表とISO感度係数により求めることができます。

ガイドナンバー

マニュアルフラッシュ撮影/35mm判画角(ISO 100)

シャッタースピード	レンズ焦点距離(照射角) mm						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/250	4.7	8.8	9.1	9.5	10.9	13.4	16.4
1/500	3.3	6.2	6.4	6.7	7.7	9.5	11.6
1/1000	2.4	4.4	4.5	4.7	5.5	6.7	8.2
1/2000	1.7	3.1	3.2	3.4	3.9	4.7	5.8
1/4000	1.2	2.2	2.3	2.4	2.7	3.4	4.1
1/8000	0.8	1.6	1.6	1.7	1.9	2.4	2.9
1/12000	0.6	1.1	1.1	1.2	1.4	1.7	2.1

* ワイドパネル装着時の照射角です。

APS-C画角時(ISO 100)

シャッタースピード	レンズ焦点距離(照射角) mm						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/250	4.7	9.7	10.0	10.9	13.4	15.0	16.4
1/500	3.3	6.8	7.1	7.7	9.5	10.6	11.6
1/1000	2.4	4.8	5.0	5.5	6.7	7.5	8.2
1/2000	1.7	3.4	3.5	3.9	4.7	5.3	5.8
1/4000	1.2	2.4	2.5	2.7	3.4	3.8	4.1
1/8000	0.8	1.7	1.8	1.9	2.4	2.7	2.9
1/12000	0.6	1.2	1.3	1.4	1.7	1.9	2.1

* ワイドパネル装着時の照射角です。

ISO感度係数

ISO 100	ISO 200	ISO 400	ISO 800	ISO 1600	ISO 3200
1	1.4	2	2.8	4	5.7

撮影距離範囲 ＝ ガイドナンバー × ISO感度係数 ÷ 絞り値

例) APS-C画角、シャッタースピード1/500秒、焦点距離28mm、絞り値F2.8、ISO400の場合
ガイドナンバー 7.1 × ISO感度係数2 ÷ 絞り値2.8 により、フラッシュ光は5mまで到達します。

ご使用上の注意

撮影上の注意

- 本機は強い光が出ますので、人物の目の前で発光させないでください。
- 本機と電池の過熱と劣化を防ぐため、連続発光を20回以上行わないでください。（光量レベル1/32の場合は、40回）
  制限回数まで連続発光した場合は、10分以上休止して自然冷却してください。

電池について

- アルカリ乾電池は、温度や保管のしかたによっては、電池残量が実際の残量よりも低く表示部に表示されることがあります。このような場合でも、本機をしばらく使用すると電池残量が回復します。
- ニッケル水素電池は、電池残量が残り少なくなると急激に性能が低下します。撮影中に突然電池警告ランプのみが点滅して本機が使用できなくなったり、電池警告ランプが点滅し始めてすぐに使用不可能になることもあります。
- 電池の製造後の経過期間により、新しい電池でも本機の発光間隔および発光回数が性能表と異なることがあります。
- 電池交換の場合は、電源を切り、数分待ってから取り出してください。電池によっては、発熱する場合があります。取り出す際はご注意ください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取りはずして保管してください。

使用温度について

- 本機の使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 直射日光下の車内など極度の高温下や、湿度の高いところに本機を放置しないでください。
- 急激な温度変化を与えると内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い屋外から温かい室内に持ち込む場合は、屋外でビニール袋に入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新しい電池を使う、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使う、などの点に留意してご使用ください。また低温下では、電池の残量が残っていても一時的に電池警告ランプが点滅することがあります。なお低温のために性能が低下した電池でも、常温に戻せば性能は回復し再び使えるようになります。
- 本機は防水性能は備えていません。海辺等で使用されるときは、水や砂がかからないよう注意してください。水、砂、ホコリ、塩分等が残っていると故障の原因になります。

お手入れのしかた

本機をカメラから取りはずし、柔らかい布でから拭きしてください。砂がついたときは、こすると傷を付けますので、ブロアーで軽く吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

ガイドナンバー

通常（閃光）発光時（ISO 100）

レンズ焦点距離（照射角）mm		16*	24	28	35	50	70	105
GN	マニュアル/35mm判	13	23	23	25	30	35	42
	APS-C	13	25	26	30	35	38	42

* ワイドパネル装着時の照射角です。

発光間隔／発光回数

	アルカリ	ニッケル水素電池（2500 mAH）
発光間隔（秒）	約0.1～3.7	約0.1～2.7
発光回数（回）	約180以上	約260以上

- 発光回数とは、新しい電池で電池消耗までに発光できる回数を表します。

連続発光　5コマ／秒で40回の連続撮影に追随可能
（閃光発光時、発光レベル1/32、105mm、ニッケル水素電池使用時）

AF補助光　低コントラストかつ低輝度時自動発光
動作範囲（DSLR-A700に焦点距離50mmレンズ装着時）
中央エリア：0.5m～6m
その他周辺エリア：0.5m～3m

調光方式	プリ発光による光量制御　TTLダイレクト調光
外形寸法	75 ×123 × 100 mm（幅/高さ/奥行き）
質量	340 g（電池含まず）
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 単3形ニッケル水素電池
同梱物	フラッシュ（1）、ミニスタンド（1）、ケース（1）、 印刷物一式

取扱説明書に記載の機能は当社試験条件によります。
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されておりますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子の悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名：HVL-F42AM
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

（2ページも合わせてお読みください）

⚠警告   下記の注意事項を守らないと、**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにカメラ本体のスイッチを切り、本機からはずしてください。ソニーの相談窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、使用しない

接触禁止

遠くで雷が鳴りだしたときは、感電を避けるため、すぐにご使用を中止してください。

本機を布団などでおおった状態で使わない

禁止

熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

発光部を人の目に近づけて発光させない

禁止

強力な光は目をいためる恐れがあります。

落下などで、外装ケースなどが破損したときは、絶対に露出部分に触れない

接触禁止

感電の原因となることがあります。

自動車などの運転中にストロボを操作したり、運転者に向けてストロボを発光させない

禁止

交通事故の原因となることがあります。

万一、使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き、使用を中止してください。

放置すると火災や火傷の原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本機をさわらない

感電の原因となることがあります。

乳幼児の手の届かないところで使用／保管する

ケガ、感電、故障の原因になります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

発光部を皮膚や物で覆ったまま発光させない。

発光のとき、発光部が大変熱くなり、火傷の恐れがあります。

カメラに取り付ける際は、本機の電源を切った状態で行う。

本機の誤動作や誤発光の原因となり、強力な光で目をいためる恐れがあります。

⚠危険　電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。

⚠危険

禁止

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ショートさせたり改造、分解しない。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそば、炎天下、高温になった車の中などで放置したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。

⚠警告

禁止

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

禁止

指示

- 乾電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池は一緒に使わない。

お願い

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になった電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

商標について

α はソニー株式会社の商標です。

English

Before operating the product, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Tape over lithium battery contacts to avoid short-circuit when disposing of batteries, and follow local regulations for battery disposal.

Keep batteries or things that could be swallowed away from young children. Contact a doctor immediately if an object is swallowed.

Immediately remove the batteries and discontinue use if...
- the product is dropped or subjected to an impact in which the interior is exposed.
- the product emits a strange smell, heat, or smoke.

Do not disassemble. Electric shock may occur if a high voltage circuit inside the product is touched.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using your photographic equipment, basic safety precautions should always be followed, including the following:

Read and understand all instructions before using.

Close supervision is necessary when any appliance is used by or near children. Do not leave appliance unattended while in use.

Care must be taken as burns can occur from touching hot parts.

Do not operate appliance with a damaged cord or if the appliance has been dropped or damaged- until it has been examined by a qualified serviceman.

Let appliance cool completely before putting away. Loop cord loosely around appliance when storing.

To reduce the risk of electric shock, do not immerse this appliance in water or other liquids.

To reduce the risk of electric shock, do not disassemble this appliance, but take it to a qualified serviceman when service or repair work is required. Incorrect reassembly can cause electric shock when the appliance is used subsequently.

The use of an accessory attachment not recommended by the manufacturer may cause a risk of fire, electric shock, or injury to persons.

Batteries may become hot or explode due to improper use.

Use only the batteries specified in this instruction manual.

Do not install the batteries with the polarity (+/-) reversed.

Do not subject batteries to fire or high temperatures.

Do not attempt to recharge (except for rechargeable batteries), short or disassemble.

Do not mix, batteries of different types, brands or ages.

SAVE THESE INSTRUCTIONS

CAUTION

Do not touch the flashtube during operation, it may become hot when the flash fires.

For customers in Europe

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Notice for the customers in the countries applying EU Directives

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the customers in the U.S.A.

CAUTION

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of following measures:

– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Table of Contents

Preparations

Basics

Applications

Additional Information

Before use

For details, refer to the operating instructions supplied with your camera.

This flash unit is not dust-proof, splash-proof or waterproof.

Do not place this flash unit in the following locations

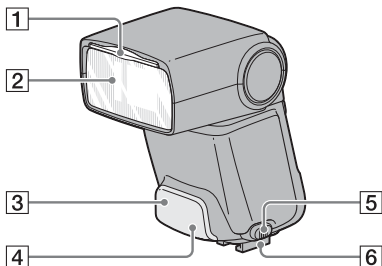
Regardless of whether this flash unit is in use or in storage, do not place it in any of the following locations. Doing so may lead to a malfunction.

- Placing this flash unit in locations subject to direct sunlight such as on dashboards or near a heater may cause this unit to deform or malfunction.
- Locations with excessive vibration
- Locations with strong electromagnetism
- Locations with excessive sand
  In locations such as the seashore and other sandy areas or where dust clouds occur, protect the unit from sand and dust.
  This may lead to a malfunction.

Features

- A compact flash that provides a flash output with a maximum guide number 42 (105 mm position, ISO 100 · m).
- Can be used with compatible lenses to enable ADI (Advanced Distance Integration) flash metering, which is not affected by the reflection rate of the background or subject.
- Enables High-speed Sync.
- Provides many functions such as bounce flash, manual flash, etc.
- This flash unit supports flash coverage to a focal length of 16mm by using the built-in wide panel when the flash is triggered.
- Corrects the white balance automatically using the color temperature information.*
- Adjusts the optimum flash coverage according to the image sensor size of the camera.*

* When Sony digital single-lens reflex camera (other than the DSLR-A100) is used.

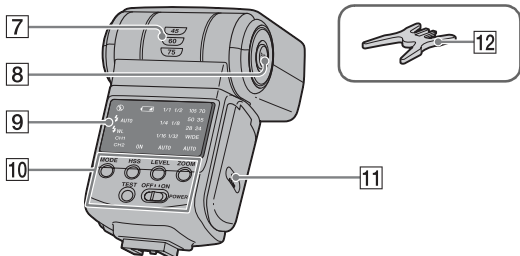
Name of parts

1 Built-in wide panel (page 24)

2 Flashtube

3 Wireless control signal receiver (page 36)

4 AF illuminator (page 31)

5 Mounting-foot release button (page 13)

6 Mounting foot (page 12)

7 Bounce indicator (page 28)

8 Bounce lock release button (page 28)

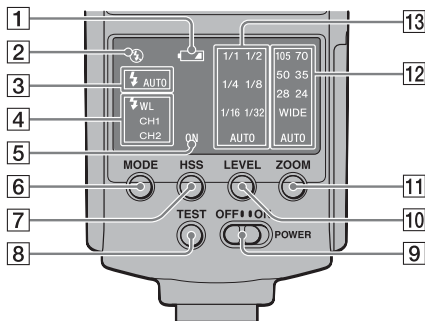
9 Display panel (page 9)

10 Control panel (page 9)

11 Battery-chamber door (page 10)

12 Mini-stand (page 39)

Remove the protective sheet from the front of the AF illuminator before use.

Display panel/Control panel

1 Low-battery lamp (page 11)
2 Flash-OFF lamp (page 16)
3 Flash-ON lamp (page 16)
4 Wireless flash lamp (page 36)
5 High-speed-sync lamp (page 34)
6 MODE button (page 16)
7 HSS button (page 34)
8 TEST button (page 27)
The status while the lamp is lit
Amber: Flash ready
Green: Proper exposure
Red: Overheating
9 POWER switch (page 14)
10 LEVEL button (page 26)
11 ZOOM button (page 22)
12 ZOOM lamp (page 22)
13 LEVEL lamp (page 26)

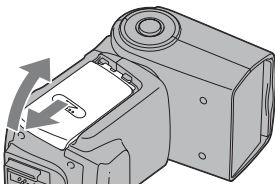
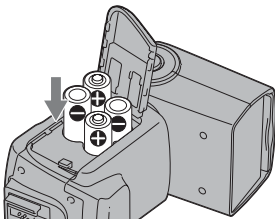
Inserting batteries

The HVL-F42AM may be powered by :

- Four AA-size alkaline batteries*
- Four AA-size rechargeable nickel-metal hydride (Ni-MH) batteries*

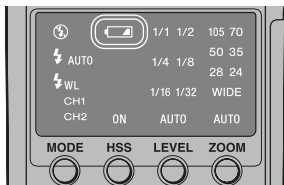
  * Batteries are not supplied.

  Always ensure that rechargeable nickel-metal hydride batteries are charged in the specified charger unit.

1 Open the battery-chamber door as shown.

2 Insert the batteries in the battery chamber as in the diagram.

3 Close the battery-chamber door.

- Follow the reverse steps when opening the battery-chamber door.

Checking Batteries

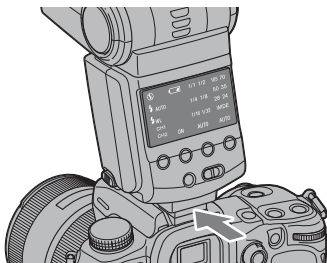
The low-battery lamp on the display panel blinks when the batteries are low.

Changing the batteries is recommended when the low-battery lamp blinks. The flash unit can still be used when the TEST button lights up in amber.

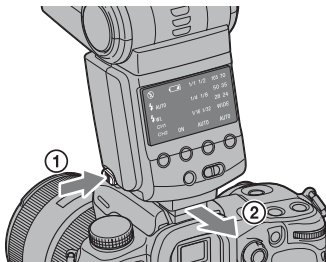
- If nothing lights up when the POWER switch is set to ON, check the orientation of the batteries.
- If only the low-battery lamp blinks, change the batteries.

Attachment and removal of the flash unit

Attaching the flash unit to the camera

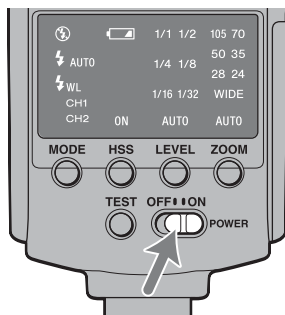
While the flash unit is turned off, push the mounting foot firmly onto the camera until it stops.

- The flash unit is locked in place automatically.
- If the built-in flash in the camera is protruding, lower it before attaching the flash unit.

Removing the flash unit from the camera

While pressing the mounting-foot release button ①, remove the flash unit ②.

Turning on the power

Set the POWER switch to ON.

Power of the flash unit turns it on.

- When the power of the flash unit is turned on, the lamps on the display panel light up.

To turn the power off

Set the POWER switch to OFF.

Power save

When the camera or flash unit is not used for three minutes, power switches off and display panel indicators go out automatically to save the batteries.

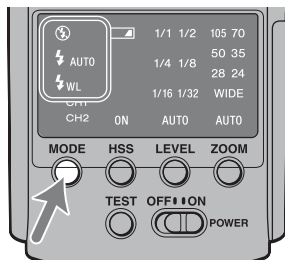
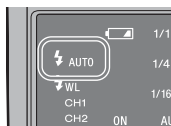
- In wireless flash photography (page 36), control panel indicators disappear after 60 minutes.
- You can change the time until power save, or disable power save. (page 44)
- The power of the flash unit is turned off automatically when the POWER switch of the camera is set to OFF.*

  * When Sony digital single-lens reflex camera (other than DSLR-A100) is used.

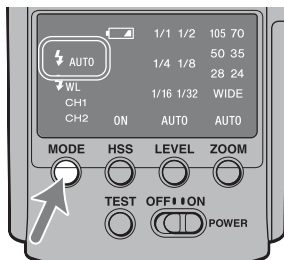
Changing the flash mode

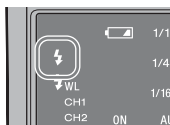
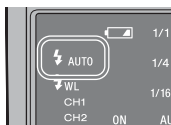
Press the MODE button.

- The indicator on the display panel changes as follows.*

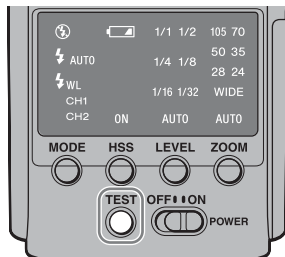
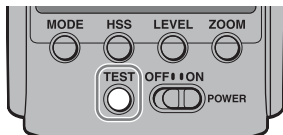
  ϟ (ϟ AUTO) → ϟ WL → (ϟ) → ϟ (ϟ AUTO) → . . .
  * When the camera is disconnected.

- The Flash-ON lamp [ϟ AUTO] lights up when the camera is set to Autoflash. Only the Flash-ON lamp [ϟ] lights up when set to Full-flash.

Program auto flash (The basics)

1 Select the P mode on the camera.

2 Press the MODE button to turn on the Flash-ON lamp, either [ϟ AUTO] or [ϟ] on the display panel.

- The Flash-ON lamp [ϟ AUTO] lights up when the camera is set to Autoflash. Only the Flash-ON lamp [ϟ] lights up when set to Full-flash.

Basics

Continued on the next page

3 When the flash unit is charged, press the shutter button to take a photo.

- The flash unit is charged when the TEST button on the control panel lights up in amber and the “ ” indicator in the camera viewfinder are both on.

When the correct exposure has been obtained for the photo just taken, the TEST button on the control panel blinks in green.

- The photo will be under-exposed because of the lack of luminescence if taken before charging is complete.
- Press the shutter button after making sure that charging is complete when using the flash unit with the self-timer.
- If your camera has AUTO mode or Scene Selection mode, they are dealt with here as program auto. Moreover, the flash mode selected (auto flash (AUTO), fill-flash ( ), and un-full-flash ( )) depends on your camera. For details, refer to the operating instructions of your camera.

• The following tables show the distance reached by the light from the flash unit (i.e. the flash range).
See page 49 for further details.

35 mm-format or manual flash

ISO100		Focal length (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Aperture	2.8	1-4.5	1-8	1-8	1-8.5	1-10.5	1-12.5	1-15
	4	1-3	1-5.5	1-5.5	1-6	1-7.5	1-8.5	1-10.5
	5.6	1-2	1-4	1-4	1-4.5	1-5	1-6	1-7.5

(unit : m)

ISO400		Focal length (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Aperture	2.8	1-9	1-16	1-16	1-17	1-21	1-25	1.2-30
	4	1-6	1-11	1-11	1-12	1-15	1-17	1-21
	5.6	1-4	1-8	1-8	1-9	1-10	1-12	1-15

(unit : m)

APS-C** format

ISO100		Focal length (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Aperture	2.8	1-4.5	1-8.5	1-9	1-10.5	1-12.5	1-13.5	1-15
	4	1-3	1-6	1-6.5	1-7.5	1-8.5	1-9.5	1-10.5
	5.6	1-2	1-4.5	1-4.5	1-5	1-6	1-6.5	1-7.5

(unit : m)

ISO400		Focal length (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Aperture	2.8	1-9	1-17.5	1-18.5	1-21	1-25	1-27	1.2-30
	4	1-6	1-12.5	1-13	1-15	1-17	1-19	1-21
	5.6	1-4	1-8.5	1-9	1-10	1-12	1-13	1-15

(unit : m)

* When the wide panel is attached.
** Advanced Photo System Classic

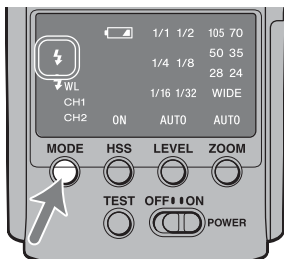
Recording modes

This section explains how to use the flash unit in each recording mode of the camera.

Aperture priority flash photography (A)

1 **Select the A mode on the camera.**

2 **Press the MODE button to turn on the Flash-ON lamp [ϟ].**

- Fill-flash is selected.

3 **Set the aperture and focus the subject.**

- Reduce the aperture (i.e. increase the f-stop) to reduce the flash range, or open the aperture (i.e. reduce the f-stop) to increase the flash range.
- The shutter speed is automatically set.

4 **Press the shutter button when charging is complete.**

Shutter speed priority flash photography (S)

1 **Select the S mode on the camera.**

2 **Press the MODE button to turn on the Flash-ON lamp [⚡].**

- Fill-flash is selected.

3 **Set the shutter speed, and focus the subject.**

4 **Press the shutter button when charging is complete.**

Manual exposure mode flash photography (M)

1 **Select the M mode on the camera.**

2 **Press the MODE button to turn on the Flash-ON lamp [⚡].**

- Fill-flash is selected.

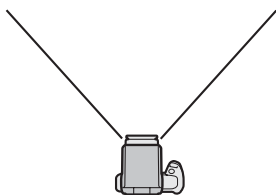
3 **Set the aperture and shutter speed, and focus the subject.**

- Reduce the aperture (i.e. increase the f-stop) to reduce the flash range, or open the aperture (i.e. reduce the f-stop) to increase the flash range.

4 **Press the shutter button when charging is complete.**

Zoom flash coverage

Auto zoom

This flash unit automatically switches optimum flash coverage (zoom flash coverage) to cover a range of focal lengths from 24 mm to 105 mm when photographing (auto zoom). Normally, you do not need to switch the flash coverage manually.
The auto zoom is working when the Auto ZOOM lamp is lit up in green. The zoom is not displayed on the display panel when the Auto ZOOM lamp is lit.

24 mm focal length 105 mm focal length

- When a lens having a focal length of less than 24 mm is used with auto zoom, ZOOM lamp [WIDE] blinks. Use of the built-in wide panel (page 24) is recommended in this case to prevent darkening at the periphery of the image.

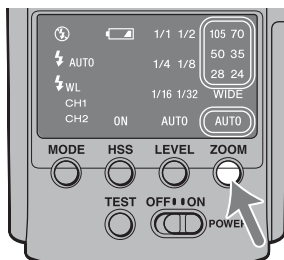
Auto zoom control optimized for image sensor size

By using a Sony digital single lens reflex camera, other than the DSLR-A100, with this flash unit, the flash unit will provide optimal flash coverage according to the image sensor size (APS-C format/35 mm-format) of the camera.

Manual zoom

You can manually set the flash coverage regardless of the focal length of the lens in use (manual zoom).

Press the ZOOM button to select the flash coverage to be set.

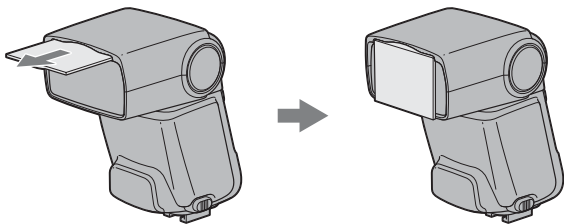
- The zoom coverage is changed in the following order.
  105 → 70 → 50 → 35 → 28 → 24 → AUTO → 105 → . . .

- If the flash coverage is set to less than the focal length of the lens in use, the periphery of the screen darkens.
- The flash coverage of the manual zoom on the display panel corresponds to the angle of view of the equivalent 35mm-format focal length.

Applications

Continued on the next page

Built-in wide panel (16 mm zoom angle)

Pulling out the built-in wide panel expands flash coverage to a focal length of 16 mm.

Pull out the wide panel.

- The ZOOM lamp [WIDE] is lit up the display panel.
- When storing the wide panel, insert it in completely.
- Do not pull out the wide panel forcibly. This may damage the wide panel.
- When photographing a flat subject from the front at a focal length of about 16 mm, the periphery of the screen may darken slightly because the focal distances at the center and periphery of the screen are different.
- When using a wide-angle lens with a focal length below 16 mm, the periphery of the screen may darken.
- The focal length corresponds to the equivalent 35mm-format focal length.
- This flash unit does not support the angle of view of a 16 mm F2.8 Fisheye lens.

Flash coverage & focal length

The larger the focal length figure of lens on a camera, the further away a subject can be photographed to take up the full screen; but the area that can be covered becomes smaller. Conversely, with a smaller focal length figure, closer subjects can be photographed with wider coverage. The flash coverage is the area that the light from the flash at a set intensity or greater can cover evenly, expressed as an angle. In this way, the flash coverage at which you can photograph is determined by the focal length.
By having flash coverage determined in accordance with focal length, flash coverage can be expressed as the figure for focal length.

Changing the power level (LEVEL)

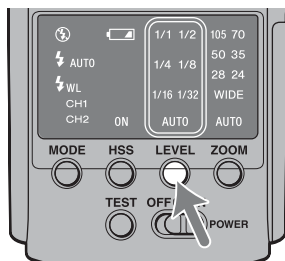
Auto flash

The flash unit adjusts the power level automatically when the LEVEL lamp [AUTO] on the display panel is lit.

Manual flash

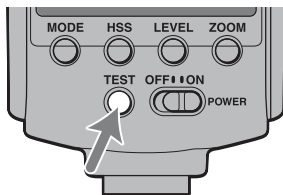
The power level for the flash unit can be adjusted.

Press the LEVEL button to select the power level to be set.

- The power level is changed in the following order.
  1/1 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 1/32 → AUTO → 1/1 → . . .

- In manual flash photography, if the power level is set at 1/1 then the flash will go off at full power. The power level range (e.g. 1/1 → 1/2) corresponds to the aperture range (e.g. F4 → 5.6).
- Change the custom setting when you change the power level for a mode other than the M mode of the camera (page 44).
- For details on the manual flash, see page 32.

Test-flash

You can try test flash before shooting. Check the light level using the test flash when you use a flash meter, etc. in the manual flash (M) mode.

Press the TEST button when the TEST button lights up in amber.

- The light level of the test-flash depends on the light level which set in the LEVEL setup.

TEST button

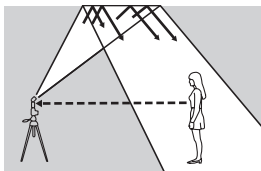
The TEST button is turned on as follows according to the current state of the flash unit.

- Amber: Flash ready
- Green: Proper exposure
- Red: Overheating*

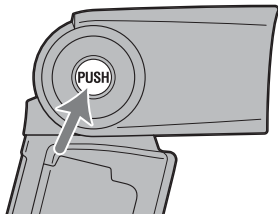
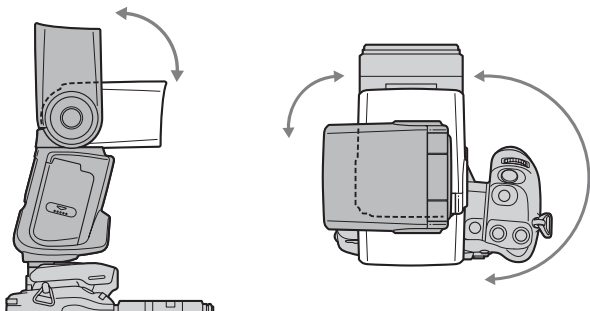
  * Overheating is a function which flash suspends operation automatically, when the temperature of this unit rises at the time of continuous flash use or use in a high temperature environment.

- The TEST button blinks in red at intervals of 1 second when overheating is detected.
- The flash operation is suspended until the temperature of the unit falls.
- Stop use of the flash unit for 10 minutes to allow the temperature of the unit to cool down.

Bounce flash

Using the flash unit with a wall directly behind the subject produces strong shadows on the wall. By directing the flash unit at the ceiling you can illuminate the subject with reflected light, reducing the intensity of the shadows and producing a softer light on the screen.

Bounce flash

Normal flash

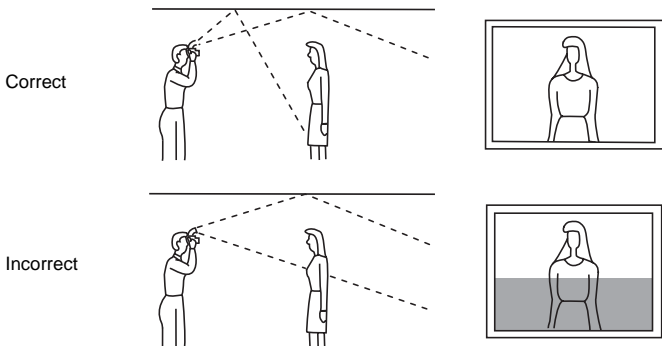
Rotate the flash unit upwards or to the left and right while pressing the bounce lock-release button.

The flash may be set to the following angles.

- Upwards: 45°, 60°, 75°, 90°
- Right: 30°, 45°, 60°, 75°, 90°, 120°, 150°, 180°
- Left: 30°, 45°, 60°, 75°, 90°

- The bounce lock engages at the 0° position. When the flash unit is returned to the original position, the lock-release button needs not to be pressed.
- When the flash is rotated upwards or to the left and right, the High-speed sync (page 34) is also cancelled.
- Use a white ceiling or wall to reflect the flash. A colored surface may color the light. High ceilings or glass are not recommended.

Continued on the next page

Adjusting bounce angle

Simultaneously using direct light and bounced light from the flash unit produces uneven lighting. Determine the bounce angle with respect to the distance to the reflective surface, the distance from the camera to the subject, the focal length of the lens etc.

When the flash is bounced upwards

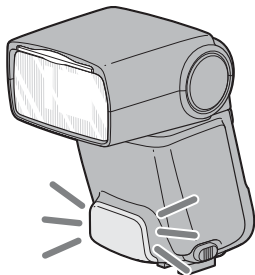
Determine the angle in relation to the following table.

Focal length of lens	Bounce angle
70 mm minimum	45°
28 - 70 mm	60°
28 mm maximum	75°, 90°

Bouncing to Left and Right

Rotating the flash by 90° to bounce light sideways is recommended. If an angle of less than 90° is used, care should be taken to ensure that direct light from the flash unit does not illuminate the subject.

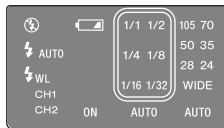
AF illuminator

In low-light or when subject contrast is low, when the shutter button is pressed partway down for Auto Focus, the red lamp on the front of the flash unit will light. This is the AF illuminator used as an aid in Auto Focus.

- The AF illuminator operates even when the Flash-OFF lamp [] is lit.
- The camera AF illuminator does not operate while the flash AF illuminator is operating.
- The AF illuminator does not operate while Continuous AF is used in focusing mode (when continually focusing on a moving subject).
- The AF illuminator may not operate if the focal length of the lens is greater than 300 mm. The flash unit will not operate when removed from the camera.

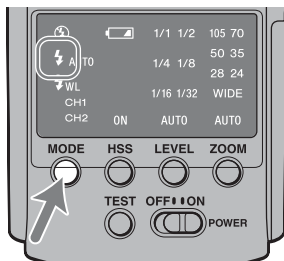
Manual flash (M)

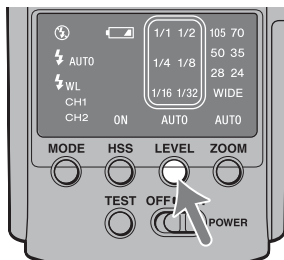
Normal TTL flash metering automatically adjusts the flash intensity to provide the proper exposure for the subject. Manual flash provides a fixed flash intensity irrespective of the brightness of the subject and the camera setting.

- Manual flash can only be used when the camera is in the M mode. In other modes, TTL measuring is automatically selected.
- As manual flash is not affected by the reflectivity of the subject, it is convenient for use with subjects with extremely high or low reflectivity.

TTL flash metering

Manual flash metering

1 Select the M mode on the camera.

2 Press the MODE button to display the Flash-ON lamp [⚡] on the display panel.

3 Press the LEVEL button to select the power level to be set.

- The power level is changed in following order.
  1/1 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 1/32 → 1/1 → . . .
- For details on setting the power level, refer to page 49.

- The flash range check indication of the TEST button (blinks in green) does not work after a photo is taken with the manual flash.
- Using custom functions, manual flash may be selected without setting the camera in the M mode (page 44).

TTL flash

Manual flash provides a fixed flash intensity irrespective of the brightness of the subject and the camera setting. TTL* flash measures the light from the subject that is reflected through the lens.
Some cameras enable P-TTL metering, which adds pre-flash to TTL metering, and ADI metering, which adds distance data to the P-TTL metering.
This flash unit defines all P-TTL and ADI metering as TTL flash and the LEVEL lamp [AUTO] on the display panel lights up.
*TTL = through the lens

- ADI metering is possible in combination with a lens with a built-in distance encoder. Before using the ADI metering function, check whether your lens has a built-in distance encoder by referring to the specifications in the operating instructions supplied with your lens.

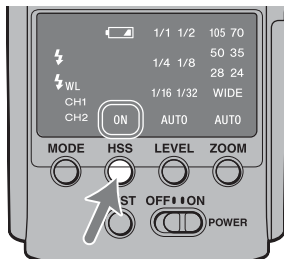
High-speed sync (HSS)

High-speed sync

Normal flash

High-speed sync eliminates the restrictions of flash sync speed and enables the flash to be used through the entire shutter speed range of the camera. The increased selectable aperture range allows flash photography with a wide aperture, leaving the background out of focus and accentuating the front subject. Even when photographing at a wide f-stop in the A mode or M mode of the camera, when the background is very bright and the shot will normally be over-exposed, you can adjust the exposure by using the high-speed shutter.

Press the HSS button.

- The high-speed-sync lamp lights up.

- This flash unit is set to high speed sync automatically when the shutter speed is set faster than the sync speed. The sync speed differs depending on the camera used. For further details of the sync speed, refer to the operating instructions of your camera.
- If you press HSS button again, high-speed sync is cancelled. When high-speed sync is cancelled, the shutter speed cannot be set faster than the sync speed.
- Taking photos in bright locations is recommended.
- High-speed sync cannot be used with bounce flash.
- When using a flash meter or color meter, high-speed sync cannot be used because it interferes with the proper exposure.

Flash Sync Speed

Flash photography is generally associated with a maximum shutter speed referred to as the flash sync speed. This restriction does not apply to cameras designed for high-speed sync (HSS) photography (page 34), since they allow flash photography at the maximum shutter speed of the camera.

Wireless flash mode (WL)

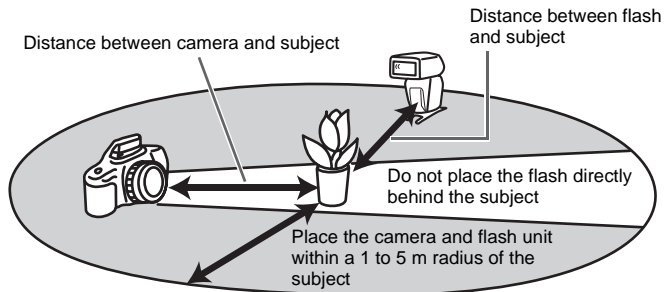
Photographs taken with the flash unit attached to the camera are flat as shown in photo ①. In such cases, remove the flash unit from the camera and position it to obtain a more three-dimensional effect as shown in photo ②.
When taking this type of photograph with a single lens reflex camera, the camera and the flash unit are most commonly connected by a cable. This flash eliminates the need for a cable to transmit signals to the flash unit by using the light of the built-in flash itself as a signal. The correct exposure is determined automatically by the camera.

Normal flash

Wireless flash

Wireless Flash Range

The wireless flash uses a light signal from the built-in flash as a trigger to operate the off-camera flash unit. Follow the points below when positioning the camera, flash, and subject.

- Photograph in dark locations indoors.
- If you rotate the flashtube using the bounce-flash function (page 28) so that the wireless control-signal receiver points toward the camera, it will be easier for the flash to receive signals from the camera.
- Place the off-camera flash within the gray area in the following diagram.

- See page 19 or 49 for details on the flash range.

Applications

Continued on the next page

Notes on wireless flash

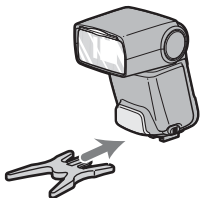
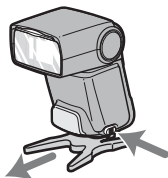
- You cannot use a flash meter or color meter in wireless flash mode because the camera’s built-in pre-flash goes off.
- The zoom position for the HVL-F42AM is automatically set to 24 mm. A zoom position other than 24 mm is not recommended.
- If another wireless flash is being used nearby, you can change the channel to “CH1” or “CH2” in the custom settings to prevent interference (page 44).
- When photographing with the wireless flash, the flash unit may in rare cases go off by mistake due to ambient static electricity or electromagnetic noise.
  When the flash is not in use, select the Flash-OFF lamp [] using the MODE button.

Attaching and removing the mini-stand

- Use the supplied mini-stand when the flash unit is separate from the camera.
- You can attach the flash unit to a tripod using the tripod socket holes in the mini-stand.

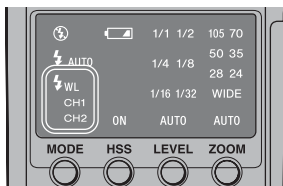
Attachment

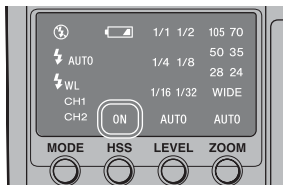
Removal

Continued on the next page

Photography with wireless flash

1 Attach the flash unit to the camera and turn the power of the flash unit and camera on.

2 Set the camera to wireless flash.

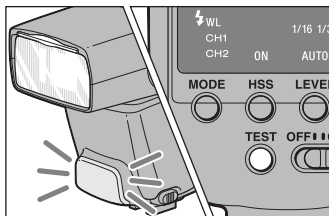
- The setting method differs depending on the camera used. For details, refer to the operating instructions of your camera.
- When the camera is set to wireless, the flash unit is also set to wireless automatically, then one of the wireless flash lamps, either [WL CH1] or [WL CH2] on the display panel is lit.
- [WL CH1] is lit when channel 1 is selected in the wireless channel setting of the flash unit, [WL CH2] is lit when channel 2 is selected. For details on changing the channel settings, see page 44.
- The light level can be changed even for the wireless flash mode. For details, refer to page 44.

3 Remove the flash unit from the camera and raise the built-in flash.

- When the flash unit is removed from the camera, the high-speed-sync lamp lights up beside the HSS button.

4 Set up the camera and flash unit.

- Set up the camera and flash unit in a dark location, such as indoors.
- See page 37 for details.

Continued on the next page

5 Make sure that the built-in flash and flash unit are fully charged.

- " ϟ " is lit in the viewfinder when the built-in flash is fully charged.
- When the flash unit is fully charged in the wireless flash mode, the AF illuminator on the front blinks, and the TEST button is lit in amber.

6 Use test flash to check the flash.

- The test flash method differs depending on the camera used. For details, refer the operation instructions of your camera.
- If the test flash does not work, change the position of the camera, flash or subject.

7 Check again that the built-in flash and the flash unit are fully charged, and press the shutter button to take the photo.

Setting wireless flash by the flash unit only

When the flash unit is attached to the camera and the wireless flash set up, the channel information is transmitted to the camera. This means that if you continue to use the same camera and flash combination without changing the wireless channel then you can also set the flash unit and camera separately to wireless.

Camera setting:
Set to the wireless flash mode.

For details, refer to the operating instructions supplied with your camera.

Flash unit setting:
Press the MODE button to turn on the wireless flash lamp, either [ϟ WL CH1] or [ϟ WL CH2].

See page 44 for further details.

Auto WB Adjustment with Color Temperature Info

Flash unit sends color temperature info to α camera. Color temperature is automatically adjusted to standard white by α camera.

- This function works when Sony digital single-lens reflex camera (other than DSLR-A100) is used.
- This function works with TTL flash mode using the clip-on connection with the camera.

Custom setting

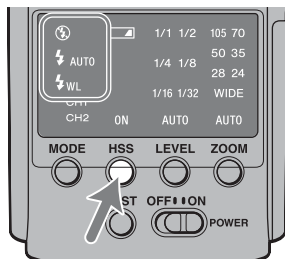
The various flash settings may be changed as necessary.
The following five items may be changed.

- Wireless channel setting (CH1/CH2)
- Time to power save (30 seconds/3 minutes/30 minutes/none)
- Time to power save when using wireless flash (60 minutes/none)
- Recording modes in which manual flash may be set
- The brightness setting of the display (bright /dark)

Performing the custom setting

The custom setting is changed as follows.

1 Press the HSS button for three seconds while the POWER switch is set to ON.

- The Flash-OFF lamp [ ], the Flash-ON lamp, [AUTO] and the Wireless flash lamp [WL] blink at the same time.

2 Change the setting you want to change.

For details on the each setting, refer to “Changing the custom setting.”

3 Press the HSS button to finish the custom setting.

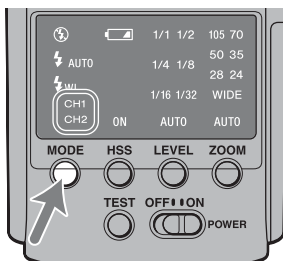
- The selected settings are maintained even if the flash unit is switched off or the battery is removed.

Changing the custom setting

An explanation how to change the each custom settings.

To change the channel setting of the wireless flash

Press the MODE button to select the desired setting.

- The display is changed in the following order.
  CH1 → CH2 → CH1 → . . .

- Attach the flash unit to the camera and press the shutter button partway down after changing the channel.

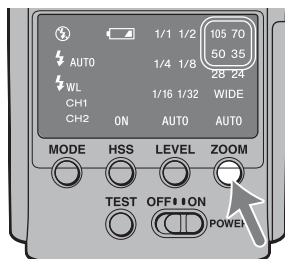
Applications

Continued on the next page

To change the time to power save

You can change the time to power save.

Press the ZOOM button to select the desired time until power save.

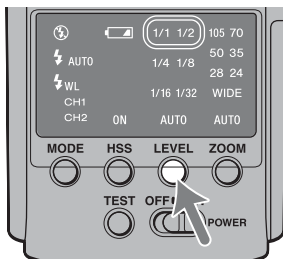
- The display is changed in the following order.
  105 → 70 → 50 → 35 → 105 → . . .
  For details of the display and setting time, see the following table.

Lamps	The time to power save
105	30 seconds (60 minutes)
70	3 minutes (60 minutes)
50	30 minutes (60 minutes)
35	None (None)

Time indicated in the parentheses is when the flash unit is set to the wireless flash mode.

- The time to power save when the flash unit is set to the wireless flash is different from any other modes.
  Example: When the power save time is changed to “35” (None) from “105” (30 seconds), the power save time for the wireless flash mode is also automatically changed to “None” from “60 minutes.”

To change the recording mode that can use the manual flash mode (M)

Press the LEVEL button to select the recording mode that can use the manual flash mode.

- The power level is changed from 1/1 to 1/2 each time the LEVEL button is pressed.
  1/1: (corresponds M mode of the camera only)
  1/2: (corresponds all modes of the camera)
- For details on setting the power level, refer to page 26.

- When “1/2” is selected, manual flash photography may be used in all recording modes of your camera. The proper exposure may not be obtained with photography in modes other than the M mode of your camera, therefore we recommend the M mode of your camera.

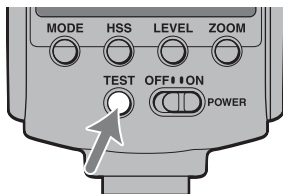
Applications

Continued on the next page

To change the brightness of the display panel

The brightness of the display panel can be adjusted in two levels.

Press the TEST button to select the desired brightness.

- The brightness changes as follows.
  Bright → Dark → Bright → . . .

- Check the status of the flash unit to confirm the custom settings can be changed, then press the TEST button.
  The test-flash flashes when you press the TEST button if the flash unit is set to any mode other than the custom settings mode.

Flash range

When using normal flash

You can get the correct flash range for normal photography, such as when using the program auto flash (P) or the manual flash (M), etc., by using the following guide number table and an ISO speed coefficient.

Guide number

35 mm-format or manual flash (ISO100)

Power Level	Flash Coverage Settings (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/1	13	23	23	25	30	35	42
1/2	9.2	16.3	16.3	17.7	21.2	24.7	29.7
1/4	6.5	11.5	11.5	12.5	15.0	17.5	21.0
1/8	4.6	8.1	8.1	8.8	10.6	12.4	14.8
1/16	3.3	5.8	5.8	6.3	7.5	8.8	10.5
1/32	2.3	4.1	4.1	4.4	5.3	6.2	7.4

* When the wide panel is attached.

APS-C format (ISO100)

Power Level	Flash Coverage Settings (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/1	13	25	26	30	35	38	42
1/2	9.2	17.7	18.4	21.2	24.7	26.9	29.7
1/4	6.5	12.5	13.0	15.0	17.5	19.0	21.0
1/8	4.6	8.8	9.2	10.6	12.4	13.4	14.8
1/16	3.3	6.3	6.5	7.5	8.8	9.5	10.5
1/32	2.3	4.4	4.6	5.3	6.2	6.7	7.4

* When the wide panel is attached.

Continued on the next page

ISO speed coefficient

ISO100	ISO200	ISO400	ISO800	ISO1600	ISO3200
1	1.4	2	2.8	4	5.7

Photography distance range = Guide number × ISO speed coefficient ÷ Aperture

Ex) 35 mm-format or manual flash, power level: 1/1, focal length: 35 mm, aperture: F4, ISO: 400

25 (Guide number) × 2 (ISO speed coefficient) ÷ 4 (Aperture) = 12 m

The flash light reaches to 12 m.

When using the HSS flat flash (flash with HSS)

The flash range becomes shorter than that of normal flash photography when the high speed sync is used. You can get the correct flash range using the following guide number table and an ISO speed coefficient.

Guide number

35 mm-format or manual flash (ISO100)

Shutter speed	Flash Coverage Settings (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/250	4.7	8.8	9.1	9.5	10.9	13.4	16.4
1/500	3.3	6.2	6.4	6.7	7.7	9.5	11.6
1/1000	2.4	4.4	4.5	4.7	5.5	6.7	8.2
1/2000	1.7	3.1	3.2	3.4	3.9	4.7	5.8
1/4000	1.2	2.2	2.3	2.4	2.7	3.4	4.1
1/8000	0.8	1.6	1.6	1.7	1.9	2.4	2.9
1/12000	0.6	1.1	1.1	1.2	1.4	1.7	2.1

* When the wide panel is attached.

APS-C format (ISO100)

Shutter speed	Flash Coverage Settings (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/250	4.7	9.7	10.0	10.9	13.4	15.0	16.4
1/500	3.3	6.8	7.1	7.7	9.5	10.6	11.6
1/1000	2.4	4.8	5.0	5.5	6.7	7.5	8.2
1/2000	1.7	3.4	3.5	3.9	4.7	5.3	5.8
1/4000	1.2	2.4	2.5	2.7	3.4	3.8	4.1
1/8000	0.8	1.7	1.8	1.9	2.4	2.7	2.9
1/12000	0.6	1.2	1.3	1.4	1.7	1.9	2.1

* When the wide panel is attached.

ISO speed coefficient

ISO100	ISO200	ISO400	ISO800	ISO1600	ISO3200
1	1.4	2	2.8	4	5.7

Photography distance range = Guide number × ISO speed coefficient ÷ Aperture

Ex) When using an APS-C format camera, shutter speed: 1/500 second, focal length: 28 mm, aperture: F2.8, ISO: 400
7.1 (Guide number) × 2 (ISO speed coefficient) ÷ 2.8 (Aperture) = 5 m
The flash light reaches to 5 m.

Additional Information

Notes on use

While shooting

- This flash unit generates strong light, so it should not be used directly in front of the eyes.
- Do not use the flash 20 times in a row or in quick succession in order to prevent heating and degradation of the camera and flash unit. (when the power level is 1/32, 40 times in a row.)
  Stop using the flash unit and cool it for 10 minutes or more, if the flash is triggered up to the limit for the number of times in quick succession.
- Attach the camera while the flash unit is turned off.
  If you do not do so, you may cause a malfunction of the flash unit or the use of an incorrect luminescence, and the powerful light may damage your eyes.

Batteries

- The battery level displayed on the control panel may be lower than the actual battery capacity, temperature, and storage conditions. The displayed battery level is restored to the correct value after the flash has been used a few times.
- Nickel-metal hydride batteries can lose power suddenly. If low-battery lamp starts blinking or the flash can no longer be used while taking pictures, change or recharge the batteries.
- The flash frequency and number of flashes provided by new batteries may vary from the values shown in the table, depending on the time elapsed since manufacture of the batteries.
- Remove the batteries only after turning the power off and waiting several minutes, when changing the batteries. The batteries may be hot, depending on the battery type. Remove them carefully.
- Remove and store the batteries when you do not intend to use the camera for a long time.

Temperature

- The flash unit may be used over a temperature range of 0 °C to 40 °C.
- Do not expose the flash unit to extremely high temperatures (e.g. in direct sunlight inside a vehicle) or high humidity.
- To prevent condensation forming on the flash, place it in a sealed plastic bag when bringing it from a cold environment into a warm environment. Allow it to reach room temperature before removing it from the bag.
- Battery capacity decreases at colder temperatures. Keep your camera and spare batteries in a warm inside pocket when shooting in cold weather. Low-battery lamp may blink even when there is some power left in the batteries in cold weather. Batteries will regain some of their capacity when warmed to normal operating temperature.
- This flash unit is not waterproof. Be careful not to bring it into contact with water or sand when using it at the seashore, for example. Contact with water, sand, dust, or salt may result in a malfunction.

Maintenance

Remove this unit from the camera. Clean the flash with a dry soft cloth. If the flash has been in contact with sand, wiping will damage the surface, and it should therefore be cleaned gently using a blower. In the event of stubborn stains, use a cloth lightly dampened with a mild detergent solution, and then wipe the unit clean with a dry soft cloth. Never use strong solvents, such as thinner or benzine, as these damage the surface finish.

Specifications

Guide number

Normal flash (ISO100)

Flash Coverage Setting (mm)		16*	24	28	35	50	70	105
GN	Manual flash/ 35mm-format	13	23	23	25	30	35	42
	APS-C format	13	25	26	30	35	38	42

* When the wide panel is attached

Frequency/Repetition

	Alkaline	Nickel hydride (2500 mAh)
Frequency (sec)	0.1 - 3.7	0.1 - 2.7
Repetition (times)	Approx. 180 or more	Approx. 260 or more

- Repetition is the approximate number of times that are possible before a new battery is completely dead.

Continuous flash performance	40 flashes at 5 flashes per second (Normal flash, light level 1/32, 105 mm, nickel-metal hydride battery)
AF illuminator	Autoflash at low contrast and low brightness Operating range (with a 50 mm lens attached to DSLR-A700) Central area: 0.5 m to 6 m Pripheral areas : 0.5 m to 3 m
Flash control	Flash control using pre-flash, TTL direct metering
Dimension (Approx.)	W 75 × H 123 × D 100 mm (3 × 4 7/8 × 4 inches)
Mass (Approx.)	340 g (12 oz) (excluding the batteries)
Recommended batteries	AA-size alkaline batteries AA-size rechargeable nickel-metal hydride batteries
Included items	Flash unit (1), Mini-stand (1), Case (1), Set of printed documentation

Functions in these operating instructions depend on testing conditions at our firm. Design and specifications are subject to change without notice.

Trademark

α is a trademark of Sony Corporation.

Français

Avant de faire fonctionner ce produit, lisez attentivement ce mode d’emploi et conservez-le pour toute référence ultérieure.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d’incendie ou de décharge électrique, n’exposez pas cet appareil à la pluie ou à l’humidité.

Scotcher les contacts des piles lithium avant de les jeter. Suivre les éventuelles consignes locales sur le rejet des piles.

Ne pas laisser les piles ou de petits accessoires à la portée de jeunes enfants qui pourraient les avaler. En cas d’ingestion accidentelle, contacter immédiatement un médecin.

Retirer immédiatement les piles du flash si :
- L’appareil est tombé ou a reçu un choc à la suite duquel il s’est brisé et laisse apparaître ses composants internes.
- L’appareil chauffe anormalement ou émet une fumée ou une odeur étrange.

Ne pas démonter le flash. Risque d’électrocution lié à la présence de circuits haute tension.

CONSIGNES DE SECURITE IMPORTANTES

Lors de l’utilisation de votre matériel photographique, il convient d’observer des précautions de sécurité de base, à savoir, entre autres :

Prendre connaissance de toutes les instructions à respecter avant toute utilisation.

Lorsqu’un appareil est utilisé par un enfant ou à proximité d’un enfant, une surveillance attentionnée est obligatoire.

Ne pas laisser l’appareil sans surveillance pendant l’utilisation.

Il convient d’être prudent car les parties chaudes peuvent entraîner des brûlures.

Ne pas utiliser l’appareil lorsque le cordon est endommagé ou si l’appareil est tombé ou a été endommagé, tant qu’il n’a pas été examiné par un technicien qualifié.

Laisser l’appareil refroidir complètement avant de le ranger. Enrouler le cordon autour de l’appareil sans le serrer lors du rangement.

Pour réduire les risques d’électrocution, ne pas immerger cet appareil dans l’eau ou d’autres liquides.

Pour réduire les risques d’électrocution, ne pas démonter cet appareil et confier l’entretien ou les réparations éventuelles à un technicien qualifié. Un montage incorrect peut entraîner une électrocution lors de l’utilisation suivante de l’appareil.

L’utilisation d’un dispositif de fixation pour accessoires non recommandé par le fabricant peut constituer un risque d’incendie, d’électrocution ou de blessure des personnes.

Les piles peuvent chauffer ou exploser suite à une utilisation incorrecte.

Utiliser uniquement les piles indiquées dans ce mode d’emploi.

Ne pas mettre les piles en place avec une polarité inversée (+/-).

Ne pas soumettre les piles au feu ou à de fortes températures.

Ne pas essayer de les recharger (sauf pour les piles rechargeables), ne pas les mettre en court-circuit, ne pas les démonter.

Ne pas mélanger différents types et différentes marques de piles, ni des piles anciennes et nouvelles.

CONSERVER CES CONSIGNES

ATTENTION

Lors de l’émission de l’éclair, le tube à éclairs peut être très chaud. Ne pas la toucher.

Pour les clients en Europe

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l’Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)

Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s’assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l’environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à préserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Avis aux consommateurs des pays appliquant les Directives UE

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Le représentant agréé pour la compatibilité électromagnétique et la sécurité du produit est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative à la garantie ou aux réparations, reportez-vous à l’adresse que vous trouverez dans les documents ci-joints, relatifs à la garantie et aux réparations.

Table des matières

Préparations

Principes de base

Applications

Informations complémentaires

Avant la première utilisation

Pour plus d'informations, se reporter au mode d'emploi fourni avec l'appareil photo.

Cette unité flash n'est étanche ni à la poussière ni à l'eau.

Ne pas la placer dans les endroits suivants

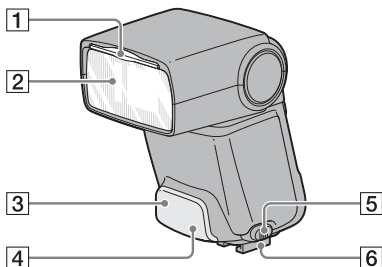
Où que cette unité flash soit stockée ou utilisée, ne pas la placer dans les endroits suivants. Cela pourrait entraîner un problème de fonctionnement.

- Placer cette unité flash dans des endroits soumis à la lumière directe du soleil, comme sur un tableau de bord ou à proximité d'un radiateur peut entraîner sa déformation ou un dysfonctionnement.
- Endroits soumis à des vibrations excessives
- Endroits soumis à de fortes ondes magnétiques
- Endroits sablonneux
  Prendre garde à ne pas exposer cet appareil au sable ou à la poussière lorsque l'on se trouve sur une plage, dans des zones sablonneuses ou dans des zones où des nuages de poussière peuvent se former.
  Cela pourrait entraîner un problème de fonctionnement.

Caractéristiques

- Il s'agit d'un flash compact qui offre une sortie de flash avec un nombre guide maximum de 42 (position 105 mm, ISO 100 · m).
- Il peut être utilisé avec des objectifs compatibles pour activer la mesure au Flash ADI (Advanced Distance Integration), qui n'est pas affectée par le taux de réflexion de l'arrière-plan ou du sujet.
- Permet la synchro haute vitesse.
- Fournit plusieurs fonctions telles que le flash réfléchi, le flash manuel etc.
- Cette unité flash prend en charge la couverture du flash à une distance focale de 16 mm en utilisant l'adaptateur grand angle intégré lorsque le flash est déclenché.
- Corrige automatiquement l'équilibre des blancs en utilisant les informations de température des couleurs.*
- Ajuste la couverture du flash optimale selon les dimensions du capteur d'image de l'appareil photo.*

* Lorsque l'appareil photo reflex à un objectif Sony (autre que le DSLR-A100) est utilisé.

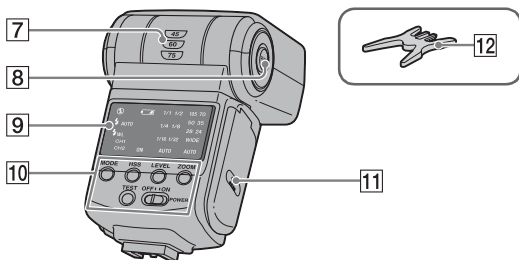
Nomenclature

1 Adaptateur grand angle intégré (page 23)

2 Tube à éclairs

3 Récepteur de signaux sans cordon (page 35)

4 Illuminateur AF (page 30)

5 Bouton de déverrouillage du sabot (page 12)

6 Sabot (page 11)

7 Indicateur d’orientation verticale (page 27)

8 Bouton de déverrouillage de la tête-réflecteur (page 27)

9 Écran d’affichage (page 8)

10 Panneau de commande (page 8)

11 Volet-couvercle du compartiment des piles (page 9)

12 Mini support (page 38)

Retirer la feuille de protection de l’avant de l’illuminateur AF avant utilisation.

Suite à la page suivante

Écran d'affichage/Panneau de commande

1 Témoin de piles faibles (page 10)

2 Témoin de flash-OFF (page 15)

3 Témoin de flash-ON (page 15)

4 Témoin de mode flash sans cordon (page 35)

5 Témoin de synchro haute vitesse (page 33)

6 Touche MODE (page 15)

7 Touche HSS (page 33)

8 Touche TEST (page 26)

Etat lorsque le témoin est allumé

Orange : témoin de charge du flash

Vert : exposition correcte

Rouge : surchauffe

9 Commutateur POWER (page 13)

10 Touche LEVEL (page 25)

11 Touche ZOOM (page 21)

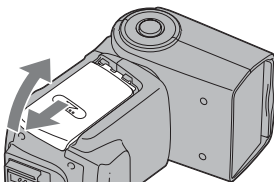
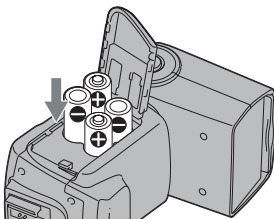
12 Témoin ZOOM (page 21)

13 Témoin LEVEL (page 25)

Mise en place des piles

Le HVL-F42AM peut être alimenté par :

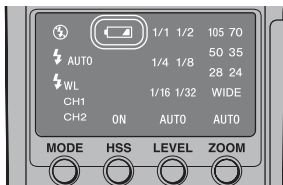
- 4 piles alcalines type AA*
- 4 piles Ni-MH (nickel-métal hydrure) rechargeables type AA*
  *Les piles ne sont pas fournies.
  S’assurer que ces piles sont bien rechargées avec le chargeur adapté.

1 Ouvrir le compartiment des piles comme indiqué.

2 Mettre les piles en place en respectant les polarités indiquées sur le schéma figurant dans le compartiment.

3 Refermer le compartiment.

- Exécuter les étapes dans le sens inverse lors de l’ouverture du compartiment.

Suite à la page suivante

Vérification de l’état des piles

Le témoin de pile faible clignote à l’écran d'affichage si les piles sont en fin de capacité.

Il est recommandé de changer les piles lorsque le témoin de pile faible clignote. L’unité flash peut encore être utilisée lorsque la touche TEST est orange.

- Si rien n’apparaît lorsque le commutateur POWER est réglé sur ON, vérifier la mise en place des piles.
- Si seul le témoin de batterie faible clignote, changer les piles.

Montage et retrait de l’unité flash

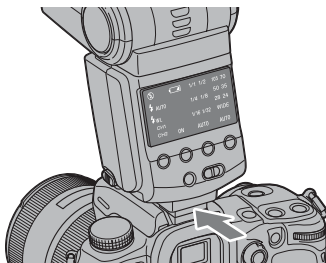
Montage de l’unité flash sur l’appareil photo

Une fois l’unité flash éteinte, pousser fermement le sabot sur l’appareil photo jusqu’à ce qu’il s’encliquette.

- L’unité flash est automatiquement verrouillée en place.
- Si le flash intégré de l’appareil photo est déployé, le rabattre avant de monter l’unité flash.

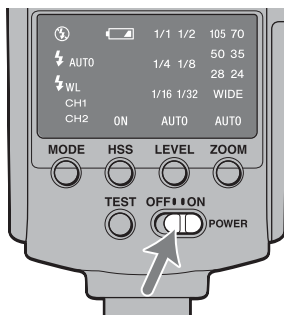
Suite à la page suivante

Retrait de l’unité flash de l’appareil photo

Tout en appuyant sur le bouton de déverrouillage ① du sabot, retirer l’unité flash ②.

Mise en marche

Mettre le commutateur POWER sur ON.

L'unité flash se met en marche.

• Lorsque l'unité flash est mise en marche, les témoins de l'écran d'affichage s'allument.

Pour éteindre l'unité flash

Mettre le commutateur POWER sur OFF.

Suite à la page suivante

Économie d'énergie

Le unité flash est automatiquement mis hors tension et l'écran d'affichage s'éteint afin d'économiser les piles lorsque l'appareil photo ou l'unité flash n'a pas été utilisé pendant 3 minutes.

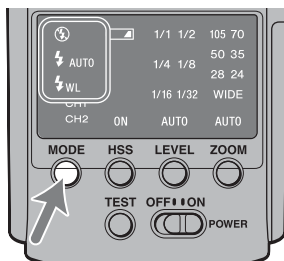
- Lors de la prise de vue avec le flash détaché de l'appareil (page 35), les indicateurs du panneau de commande disparaissent au bout de 60 minutes.
- Il est possible de changer la temporisation avant l'économie d'énergie, ou désactiver l'économie d'énergie. (page 43)
- L'unité flash s'éteint automatiquement lorsque le commutateur POWER de l'appareil photo est réglé sur OFF.*

  * Lorsque l'appareil photo reflex à un objectif Sony (autre que DSLR-A100) est utilisé.

Modification du mode flash

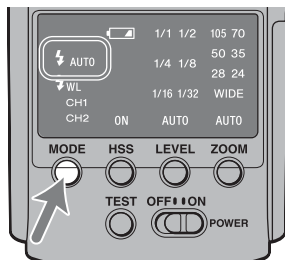
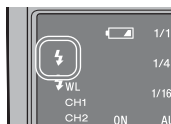
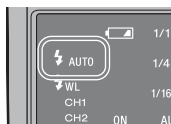
Appuyer sur la touche MODE.

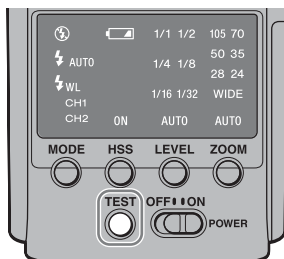
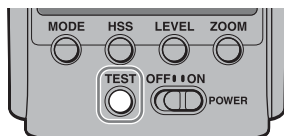
• L’indicateur sur l’écran d’affichage change comme ceci :*

⚡ (⚡ AUTO) → ⚡ WL → (⚡) → ⚡ (⚡ AUTO) → . . .
* Lorsque l’appareil photo est débranché.

• Le témoin Flash-ON [⚡ AUTO] s’allume lorsque l’appareil photo est défini sur mode flash automatique. Seul le témoin Flash-ON [⚡] s’allume lorsque l’appareil photo est réglé sur le mode Full-flash.

Flash en mode de programmation automatique (principes de base)

1 **Sélectionner le mode P sur l’appareil photo.**

2 **Appuyer sur la touche MODE pour allumer le témoin Flash-ON, [AUTO] ou [ ] sur l’écran d’affichage.**

- Le témoin Flash-ON [AUTO] s’allume lorsque l’appareil photo est défini sur mode flash automatique. Seul le témoin Flash-ON [ ] s’allume lorsque l’appareil photo est réglé sur le mode Full-flash.

3 Lorsque l'unité flash est chargée, appuyer sur le déclencheur pour prendre une photo.

- L'unité flash est chargée lorsque la touche TEST du panneau de commande s'allume en orange et que l'indicateur « ϟ » dans le viseur est allumé.

Lorsque l'exposition de la photo qui vient d'être prise est bonne, la touche TEST du panneau de commande clignote en vert.

- La photo risque d'être sous-exposée à cause du manque de luminosité si le déclenchement intervient avant la fin de la charge du flash.
- Lors de l'utilisation du retardateur, appuyer sur le déclencheur seulement lorsque la charge du unité flash est terminée.
- Si l'appareil photo comporte le mode AUTO ou le mode de sélection de scène, ils sont gérés ici comme des modes automatiques programmés. De plus, le mode flash sélectionné (flash automatique (ϟ AUTO), fill-flash (ϟ) et un-full-flash (⊘)) dépend de l'appareil photo. Pour plus d'informations, se reporter au mode d'emploi de l'appareil photo.

Principes de base

Suite à la page suivante

• Les tableaux suivants indiquent la distance atteinte par la lumière de l'unité flash (c'est-à-dire la portée du flash).
Voir page 48 pour plus de détails.

Format 35 mm ou flash manuel

ISO100		Distance focale (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Ouverture	2,8	1-4,5	1-8	1-8	1-8,5	1-10,5	1-12,5	1-15
	4	1-3	1-5,5	1-5,5	1-6	1-7,5	1-8,5	1-10,5
	5,6	1-2	1-4	1-4	1-4,5	1-5	1-6	1-7,5

(unité : m)

ISO400		Distance focale (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Ouverture	2,8	1-9	1-16	1-16	1-17	1-21	1-25	1,2-30
	4	1-6	1-11	1-11	1-12	1-15	1-17	1-21
	5,6	1-4	1-8	1-8	1-9	1-10	1-12	1-15

(unité : m)

Format APS-C**

ISO100		Distance focale (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Ouverture	2,8	1-4,5	1-8,5	1-9	1-10,5	1-12,5	1-13,5	1-15
	4	1-3	1-6	1-6,5	1-7,5	1-8,5	1-9,5	1-10,5
	5,6	1-2	1-4,5	1-4,5	1-5	1-6	1-6,5	1-7,5

(unité : m)

ISO400		Distance focale (mm)						
		16*	24	28	35	50	70	105
Ouverture	2,8	1-9	1-17,5	1-18,5	1-21	1-25	1-27	1,2-30
	4	1-6	1-12,5	1-13	1-15	1-17	1-19	1-21
	5,6	1-4	1-8,5	1-9	1-10	1-12	1-13	1-15

(unité : m)

* Lorsque l'adaptateur grand-angle est monté.
** Advanced Photo System Classic

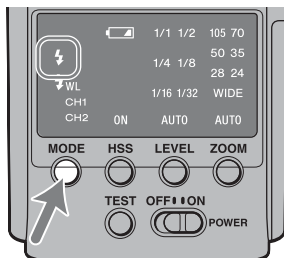
Modes d’enregistrement

Cette section explique comment utiliser l’unité flash dans chaque mode d’enregistrement de l’appareil photo.

Prise de vue en mode flash priorité d’ouverture (A)

1 **Sélectionner le mode A sur l’appareil photo.**

2 **Appuyer sur la touche MODE pour allumer le témoin Flash-ON [ϟ].**

- Le mode Fill-flash est sélectionné.

3 **Régler l’ouverture et faire le point sur le sujet.**

- Pour diminuer la portée du flash, diminuer l’ouverture (nombre plus grand). Pour augmenter la portée, augmenter l’ouverture.
- La vitesse d’obturation est automatiquement réglée (nombre plus petit).

4 **Appuyer sur le déclencheur lorsque le flash est chargé.**

Suite à la page suivante

Prise de vue en mode flash priorité de vitesse d’obturation (S)

1 **Sélectionner le mode S sur l’appareil photo.**

2 **Appuyer sur la touche MODE pour allumer le témoin Flash-ON [⚡].**

- Le mode Fill-flash est sélectionné.

3 **Régler la vitesse d’obturation et faire le point sur le sujet.**

4 **Appuyer sur le déclencheur lorsque le flash est chargé.**

Mode de prise de vue en exposition manuelle (M)

1 **Sélectionner le mode M sur l’appareil photo.**

2 **Appuyer sur la touche MODE pour allumer le témoin Flash-ON [⚡].**

- Le mode Fill-flash est sélectionné.

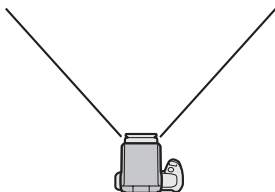
3 **Régler l’ouverture et la vitesse d’obturation et faire le point sur le sujet.**

- Pour diminuer la portée du flash, diminuer l’ouverture (nombre plus grand). Pour augmenter la portée, augmenter l’ouverture (nombre plus petit).

4 **Appuyer sur le déclencheur lorsque le flash est chargé.**

Couverture de la tête-réflecteur zoom

Auto zoom

Cette unité flash comporte une tête-réflecteur zoom permettant la couverture du flash optimale (couverture de la tête-réflecteur zoom) pour couvrir différentes distances focales comprises entre 24 mm et 105 mm lors de la prise de photo (Auto zoom). Sauf volonté de l’utilisateur, le réglage de couverture s’effectue de façon automatique.
L’auto zoom fonctionne lorsque le témoin Auto ZOOM est allumé en vert. Le zoom ne s’affiche pas sur l’écran lorsque le témoin Auto ZOOM est allumé.

Distance focale 24 mm　　Distance focale 105 mm

- Le témoin ZOOM [WIDE] clignote si un objectif ayant une distance focale inférieure à 24 mm est utilisé en mode Auto zoom. Dans ce cas, utiliser l’adaptateur grand angle intégré (page 23) afin d’éviter un assombrissement de la périphérie de l’image.

Contrôle optimisé du mode Auto zoom pour les dimensions du capteur d’image

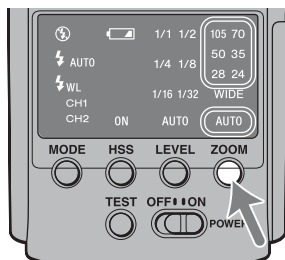
En utilisant un appareil photo reflex à un objectif Sony, autre que le DSLR-A100, avec cette unité flash, l’unité Flash fournira une couverture de flash optimale selon les dimensions du capteur d’image (format APS-C/format 35 mm) de l’appareil photo.

Suite à la page suivante

Zoom manuel

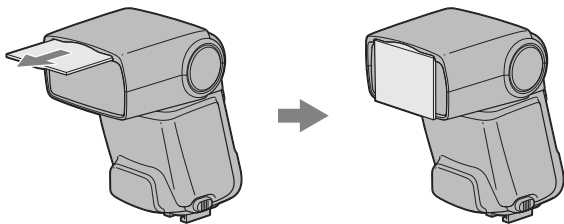
Il est possible de régler manuellement la couverture du flash quelle que soit la distance focale de l’objectif utilisé (zoom manuel).

Appuyer sur la touche ZOOM pour sélectionner la couverture du flash à régler.

- Les positions de couverture changent dans l’ordre suivant.
  105 → 70 → 50 → 35 → 28 → 24 → AUTO → 105 → . . .

- Si la couverture du flash sélectionnée est inférieure à celle nécessaire à la distance focale utilisée, l’image peut présenter un assombrissement de sa périphérie.
- La couverture du flash du zoom manuel sur l’écran correspond à l’angle de vue d’une distance focale de 35 mm.

Adaptateur grand angle intégré (couverture 16 mm)

L’adaptateur grand angle intégré étend la couverture du flash à une distance focale de 16 mm.

Tirer l’adaptateur.

- Le témoin ZOOM [WIDE] s’allume sur l’écran d’affichage.
- Lors du rangement de l’adaptateur grand angle, veiller à l’insérer complètement.
- Ne pas tirer l’adaptateur vigoureusement. Cela pourrait l’endommager.
- Lorsque l’on photographie des sujets plans à une distance focale d’environ 16 mm, le flux d’éclairage entre le centre et la périphérie présente une légère variation qui peut se traduire par une périphérie de l’image légèrement plus sombre que le centre.
- En cas d’utilisation d’un objectif grand-angle avec une distance focale inférieure à 16 mm, la périphérie de l’image peut s’assombrir.
- La distance focale correspond à une distance focale de 35 mm.
- Cette unité flash ne prend pas en charge l’angle de vue d’un objectif F2,8 Fisheye de 16 mm.

Suite à la page suivante

Couverture du flash et distance focale

Plus la distance focale de l’objectif d’un appareil photo est longue, plus il est possible de photographier un sujet loin sur le plein écran ; mais la zone couverte rétrécit. À l’inverse, avec une distance focale plus courte, il est possible de photographier les objets plus proches avec une couverture plus large. La couverture du flash est la zone, exprimée en angle, que la lumière du flash à une intensité donnée peut couvrir uniformément. De cette façon, la couverture du flash à laquelle il est possible de prendre des clichés est déterminée par la distance focale.
Si la couverture du flash est déterminée en fonction de la distance focale, elle peut être exprimée en tant que chiffre de la distance focale.

Changement du niveau de puissance (LEVEL)

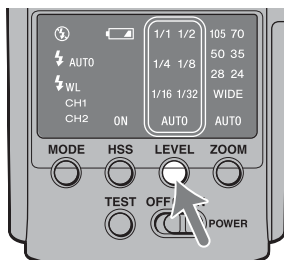
Flash automatique

L’unité flash ajuste automatiquement le niveau de puissance lorsque le témoin LEVEL [AUTO] est allumé sur l’écran d’affichage.

Flash manuel

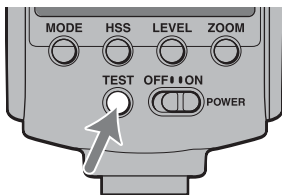
Le niveau de puissance pour l’unité flash peut être ajusté.

Appuyer sur la touche LEVEL pour sélectionner le niveau de puissance à régler.

- Le niveau de puissance change dans l’ordre suivant.
  1/1 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 1/32 → AUTO → 1/1 → . . .

- En cas de photographie avec le flash manuel avec un niveau de puissance est réglé à 1/1, le flash s’enclenchera à pleine puissance. La gamme du niveau de puissance (par ex. 1/1 → 1/2) correspond à la gamme d’ouverture (par ex. F4 → 5,6).
- Changer le réglage personnalisé en cas de modification du niveau de puissance pour un autre mode que le mode M (page 43).
- Pour plus de détails sur le flash manuel, voir page 31.

Test du flash

Il est possible d’essayer le flash avant d’effectuer la prise de vue. Vérifier le niveau de luminosité à l’aide du flash de test en cas d’utilisation d’un flashmètre en mode flash manuel (M).

Appuyer sur la touche TEST lorsqu’elle s’allume en orange.

- Le niveau de luminosité du test de flash dépend de celui du réglage LEVEL.

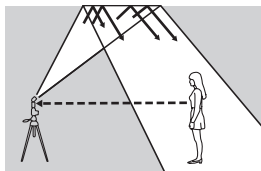
Touche TEST

La touche TEST est activé comme suit, selon l’état de l’unité flash.

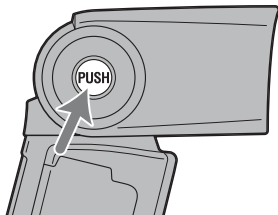
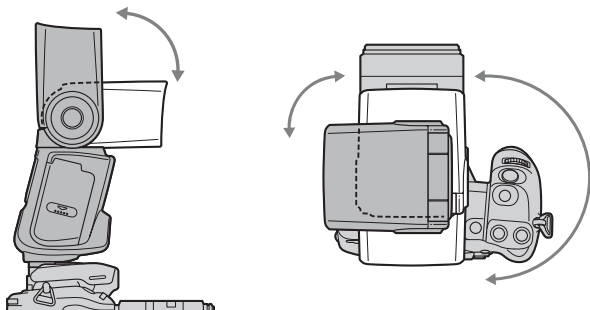
- Orange : flash prêt
- Vert : exposition correcte
- Rouge : surchauffe*
  - * La fonction de surchauffe suspend le fonctionnement du flash automatiquement, quand la température de son unité augmente lors d’une utilisation continue ou lors d'une utilisation dans un environnement aux températures élevées.

- La touche TEST clignote en rouge à un intervalle d’une seconde lorsqu’une surchauffe est détectée.
- Le fonctionnement du flash est suspendu jusqu’à ce que la température de l’unité chute.
- Arrêter l’unité flash pendant 10 minutes afin qu’elle refroidisse.

Flash réfléchi

L'utilisation de l'unité flash avec un mur directement derrière l'objet fait apparaître des ombres importantes sur le mur. En dirigeant l'unité flash vers le plafond, le réfléchissement de la lumière permet d'éclairer l'objet, ce qui réduit l'intensité des ombres et produit une luminosité plus douce sur l'écran.

Flash réfléchi

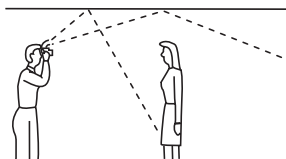
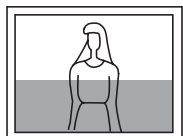
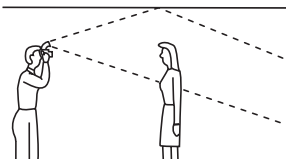
Flash normal

Faire tourner l'unité flash vers le haut ou latéralement tout en maintenant le bouton de déverrouillage de la tête-réflecteur enfoncé.

Suite à la page suivante

Il est possible de régler le flash aux angles suivants.

- Vers le haut : 45°, 60°, 75°, 90°
- À droite : 30°, 45°, 60°, 75°, 90°, 120°, 150°, 180°
- À gauche : 30°, 45°, 60°, 75°, 90°

- Le bouton de déverrouillage de la tête-réflecteur s’enclenche en position 0°. Quand l’unité flash revient à sa position d’origine, il n’est pas nécessaire d’appuyer de nouveau sur le bouton de déverrouillage.
- Si le flash est tourné vers le haut ou latéralement, la synchro haute vitesse (page 33) est également annulée.
- Utiliser un mur ou un plafond blanc pour refléter le flash. Une surface colorée peut colorer la lumière. Des vitres ou des hauts plafonds sont déconseillés.

Réglage de la réflexion

L'utilisation simultanée de la lumière directe et réfléchie de l'unité flash produit un résultat incorrect. Déterminer l'angle de réflexion par rapport à la distance flash-surface réfléchissante, la distance appareil-sujet, la distance focale de l'objectif, etc.

Applications

Lorsque le flash est réfléchi par le haut

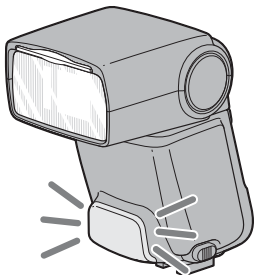
Déterminer l'angle de réflexion à l'aide du tableau suivant.

Distance focale de l'objectif	Angle de réflexion
70 mm et plus	45°
28 – 70 mm	60°
28 mm et moins	75°, 90°

Flash réfléchi par la gauche et la droite

Pour une réflexion latérale de la lumière, il est recommandé de tourner la tête-réflecteur à 90°. Avec un angle inférieur à 90°, s'assurer que le sujet ne reçoit pas de lumière directe provenant de l'unité flash.

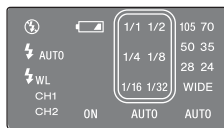
Illuminateur AF

En faible lumière ambiante ou si le sujet présente un faible contraste, la pression à mi-course sur le déclencheur allume le témoin rouge placé en façade de l'unité flash. L'illuminateur AF permet à l'autofocus de fonctionner.

- L'illuminateur AF fonctionne même si le témoin Flash-OFF [ⓨ] est allumé.
- L'illuminateur AF du boîtier est déconnecté lorsque celui du flash est en service.
- L'illuminateur AF ne fonctionne pas en mode AF continu (lorsqu'un sujet en déplacement est filmé en continu).
- L'illuminateur AF ne peut pas fonctionner si l'objectif utilisé est d'une distance focale supérieure à 300 mm. Il ne fonctionne pas non plus lorsque l'unité flash est détachée de l'appareil.

Flash manuel (M)

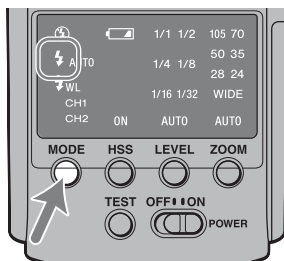
Le mode d’exposition automatique du flash avec mesure TTL ajuste l’intensité de l’éclair afin d’aboutir à une exposition idéale pour le sujet. En mode manuel, l’intensité de l’éclair est fixe, quels que soient le sujet et les réglages de l’appareil.

- Le mode flash manuel ne peut être utilisé que lorsque l’appareil est en mode manuel (M). Dans les autres modes, la mesure TTL est automatiquement sélectionnée.
- Le mode flash manuel n’étant pas influencé par le pouvoir de réflexion du sujet, il peut être utilisé pour exposer des sujets présentant un pouvoir de réflexion très fort ou très faible.

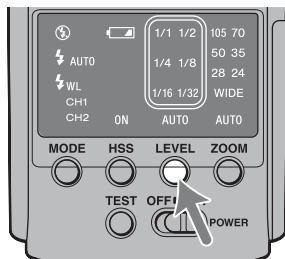
Flashmètre TTL

Flashmètre manuel

Applications

1 Sélectionner le mode M sur l’appareil photo.

2 Appuyer sur la touche MODE pour allumer le témoin Flash-ON [ϟ] sur l’écran d'affichage.

Suite à la page suivante

3 Appuyer sur la touche LEVEL pour sélectionner le niveau de puissance à régler.

- Le niveau de puissance change dans l'ordre suivant.
  1/1 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 1/32 → 1/1 → . . .
- Pour plus de détails sur le niveau de puissance, voir page 48.

- Les indications de vérification de la portée du flash fournies par la touche TEST (qui clignote en vert) ne fonctionnent pas si une photo est prise avec le flash manuel.
- À l'aide des fonctions personnalisées, il est possible de sélectionner le flash manuel sans régler l'appareil sur mode M (page 43).

Flash TTL

En mode manuel, l'intensité de l'éclair est fixe, quels que soient le sujet et les réglages de l'appareil. Flash TTL* mesure la lumière du sujet qui est réfléchie dans l'objectif.
Certains appareils permettent la mesure P-TTL, qui ajoute un pré-flash à la mesure TTL et la mesure ADI qui ajoutent des données de distance à la mesure P-TTL.
L'unité flash définit toutes les mesures P-TTL et ADI en tant que flash TTL et le témoin LEVEL [AUTO] sur l'écran d'affichage s'allume.
*TTL = par l'objectif

- Il est possible de combiner la mesure ADI avec un objectif équipé d'un encodeur de distance intégré. Avant d'utiliser la fonction de mesure ADI, vérifier si l'objectif est équipé d'un encodeur de distance intégré en consultant les spécifications du mode d'emploi fourni avec l'objectif.

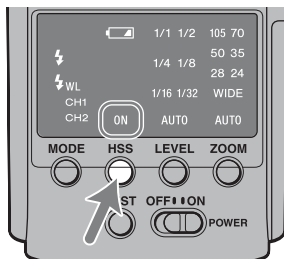
Synchro haute vitesse (HSS)

Synchro haute vitesse

Flash normal

La synchro haute vitesse permet de s’affranchir des restrictions habituelles de la synchro classique et d’accéder à l’ensemble de la gamme de vitesses de l’appareil. La gamme d’ouvertures compatibles augmente, ce qui permet des prises de vues avec une large ouverture de diaphragme : la mise au point sur l’arrière plan est floue, mettant ainsi en valeur le sujet du premier plan. Même lors d’une prise de vues à une ouverture de diaphragme géométrique élevée en mode A ou M, lorsque l’arrière-plan est très lumineux et que la prise est normalement surexposée, il est possible de régler l’exposition en utilisant le déclencheur haute vitesse.

Appuyer sur la touche HSS.

- Le témoin de synchro haute vitesse s’allume.

Suite à la page suivante

- Cette unité flash est réglée pour une synchro haute vitesse automatique quand la vitesse du déclencheur est plus rapide que celle de la synchro. La vitesse de synchro change en fonction de l'appareil utilisé. Pour plus de détails sur la vitesse de synchro, voir le mode d'emploi de l'appareil.
- En cas de nouvelle pression sur HSS, la synchro haute vitesse est désactivée. Quand c'est le cas, il est impossible que la vitesse du déclencheur soit plus rapide que celle de la synchro.
- Il est conseillé de prendre des photos dans des lieux lumineux.
- Il est impossible d'utiliser la synchro haute vitesse avec le flash réfléchi.
- Lors de l'utilisation d'un flashmètre ou d'un thermocolorimètre, il est impossible d'utiliser la synchro haute vitesse car elle perturbe l'exposition.

Vitesse de synchro du flash

Les photographies réalisées avec le flash sont généralement associées à une vitesse d'obturation maximale appelée vitesse de synchro du flash. Cette restriction ne s'applique pas aux appareils photo conçus pour la photographie de synchro haute vitesse (HSS) (page 33), car ils permettent de photographier au flash à une vitesse d'obturation maximale de l'appareil.

Mode flash sans cordon (WL)

Les photographies réalisées avec l'unité flash monté sur l'appareil manquent de relief comme illustré sur la photo ①. Dans ce cas, il est possible d'obtenir un meilleur rendu en détachant l'unité flash de l'appareil pour le placer sur le côté du sujet, comme illustré sur la photo ②.
Lorsque l'on prend ce type de photographie avec un appareil photo reflex à objectifs interchangeables, l'appareil photo et l'unité flash sont généralement raccordés par un cordon. Désormais, il n'est plus nécessaire de disposer de cordons, car c'est l'éclair du flash intégré lui-même qui transmet le signal à l'unité flash. L'exposition correcte est déterminée automatiquement par l'appareil photo.

Applications

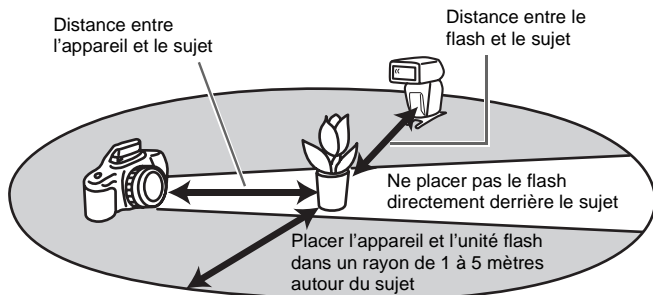
Flash normal

Flash sans cordon

Suite à la page suivante

Portée du flash sans cordon

Le mode flash sans cordon fonctionne grâce à un signal émis par le flash intégré qui déclenche l'unité flash détachée de l'appareil. Lors de la disposition de l'appareil photo, des flashes et du sujet, suivre les indications suivantes.

- Effectuer les prises de vues de préférence en intérieur, et avec une lumière ambiante faible.
- La réception du signal de commande en provenance de l'appareil photo sera meilleure si est tourné le tube à éclairs à l'aide de la fonction de flash indirect (page 27) de sorte que le récepteur du signal de commande détaché sans cordon soit orienté vers l'appareil photo.
- Placer le flash détaché comme indiqué dans la zone grisée du schéma suivant.

- Voir page 18 ou 48 pour plus de détails sur la portée du flash.

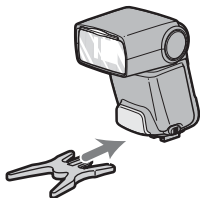
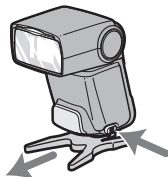
Remarques concernant le mode flash sans cordon

- L’utilisation d’un flashmètre ou d’un thermocolorimètre est impossible en mode flash sans cordon car le pré-flash intégré de l’appareil s’éteint.
- Avec le HVL-F42AM, la position du zoom est automatiquement réglée sur 24 mm. Une autre position de zoom est déconseillée.
- Si un autre flash sans cordon est utilisé à proximité, il est possible de passer le canal sur « CH1 » ou « CH2 » dans les réglages personnalisés afin d’éviter d’éventuelles interférences (page 43).
- Lors d’une prise de vues avec le flash sans cordon, l’unité flash peut parfois s’éteindre en raison de l’électricité statique ambiante ou de parasites électromagnétiques.
  Si le flash n’est pas utilisé, sélectionner le témoin Flash-OFF à l’aide de la touche MODE.

Suite à la page suivante

Fixation et démontage du mini-support

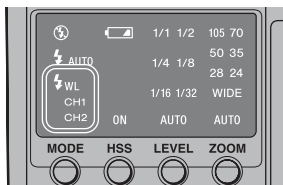
- Utiliser le mini-support fourni lorsque l'unité flash est détaché de l'appareil.
- Il est possible de fixer l'unité flash sur un trépied à l'aide des orifices filetés pour trépied du mini-support.

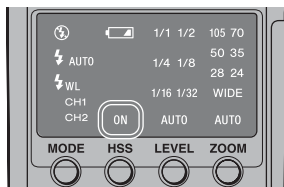
Fixation

Démontage

Photographie avec flash sans cordon

1 Fixer l’unité flash à l’appareil puis les mettre chacun sous tension.

2 Régler l’appareil sur l’unité flash sans cordon.

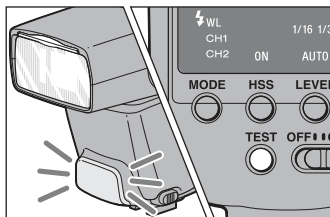
- La méthode de réglage change en fonction de l’appareil utilisé. Pour plus d’informations, se reporter au mode d’emploi de l’appareil photo.
- Quand l’appareil est réglé sur sans cordon, il en est de même automatiquement pour l’unité flash, puis l’un des témoins de flash sans cordon, [WL CH1] ou [WL CH2] s’allume sur l’écran.
- [WL CH1] s’allume lorsque le canal 1 est sélectionné dans le réglage de canal sans cordon de l’unité flash, [WL CH2] s’allume lorsque le canal 2 est sélectionné. Pour plus de détails sur la façon de changer les réglages des canaux, voir page 43.
- Il est possible de changer le niveau de luminosité, même en mode de flash sans cordon. Pour de plus amples détails, voir page 43.

Suite à la page suivante

3 Retirer le flash de l'appareil et soulever le flash intégré.

- Lorsque l'unité flash n'est pas sur l'appareil, le témoin de synchro haute vitesse s'allume à côté de la touche HSS.

4 Régler l'appareil et l'unité flash.

- Effectuez cela dans un lieu où la luminosité est faible, à l'intérieur par exemple.
- Voir page 36 pour plus de détails.

5 S’assurer que le flash intégré et que l’unité flash sont entièrement chargés.

- « ϟ » s’allume dans le viseur quand le flash intégré est entièrement chargé.
- Lorsque l’unité flash est entièrement chargée en mode flash sans cordon, l’illuminateur AF clignote à l’avant, et la touche TEST s’allume en orange.

6 Utiliser le test de flash pour vérifier le flash.

- La méthode de test de flash change en fonction de l’appareil utilisé. Pour plus d’informations, se reporter au mode d’emploi de l’appareil photo.
- Si le test de flash ne fonctionne pas, changer l’emplacement de l’appareil, du flash ou du sujet.

7 Vérifier de nouveau que le flash intégré et l’unité flash sont entièrement chargés, puis appuyer sur le déclencheur pour prendre une photo.

Suite à la page suivante

Réglage du mode flash détaché sans cordon sur l'unité flash uniquement

Lorsque l'unité flash est fixée à l'appareil et que le mode flash sans cordon est réglé, les informations des canaux sont transmises à l'appareil. Cela signifie que si la même combinaison appareil-flash est utilisée sans changer de canal sans cordon, l est également possible d'utiliser l'unité flash et l'appareil en mode sans cordon.

Réglage de l'appareil : Sélectionner le mode flash sans cordon.

Pour plus d'informations, se reporter au mode d'emploi fourni avec l'appareil photo.

Réglage de l'unité flash : Appuyer sur la touche MODE pour activer le témoin de mode flash sans cordon, [ϟ WL CH1] ou [ϟ WL CH2].

Voir page 43 pour plus de détails.

Ajustement automatique de l'équilibre des blancs grâce aux informations de température des couleurs

L'unité flash envoie des informations de température des couleurs à l'appareil photo α. La température des couleurs est automatiquement ajustée à blanc standard par l'appareil photo α.

- L'appareil photo reflex à un objectif Sony (autre que DSLR-A100) possède cette fonction.
- Cette fonction est possible avec le mode flash TTL fixé par clip sur l'appareil photo.

Réglage personnalisé

Les différents réglages du flash peuvent être modifiés si nécessaire.
Les cinq éléments suivants peuvent être modifiés.

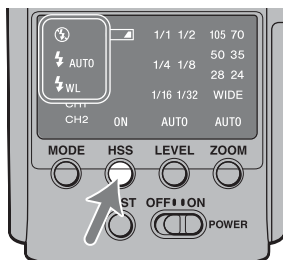
- Réglage du canal en mode sans cordon (CH1/CH2)
- Temporisation avant l'économie d'énergie (30 secondes/3 minutes/30 minutes/ pas de temporisation)
- Temporisation avant l'économie d'énergie en mode flash sans cordon (60 minutes/pas de temporisation)
- Modes de prises de vues dans lesquels le mode flash manuel peut être utilisé
- L'intensité de l'affichage (claire/sombre).

Réalisation du réglage personnalisé

Le réglage personnalisé change comme suit :

1 Appuyer sur la touche HSS pendant trois secondes pendant que le commutateur POWER est réglé sur ON.

- Le témoin Flash-OFF [ ], le témoin Flash-ON, [AUTO] et le témoin de mode flash sans cordon [WL] clignotent en même temps.

Applications

Suite à la page suivante

2 Modifier le réglage de votre choix.

Pour plus de détails sur chaque réglage, voir « Modification du réglage personnalisé ».

3 Appuyer sur la touche HSS pour quitter les réglages personnalisés.

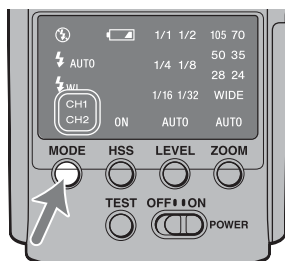
- Les réglages sélectionnés sont conservés même si l'unité flash est désactivée et que la batterie est retirée.

Modification du réglage personnalisé

Explication sur la façon de changer chaque réglage personnalisé.

Pour changer le réglage de canal du mode flash sans cordon

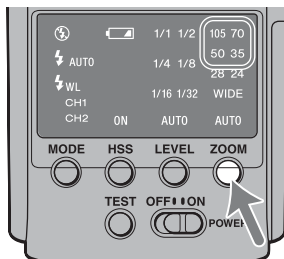
Appuyer sur la touche MODE pour sélectionner le réglage de son choix.

- L'affichage change dans l'ordre suivant.
  CH1 → CH2 → CH1 → . . .

- Fixer l'unité flash à l'appareil et appuyer sur la touche du déclencheur à mi-course une fois le changement de canal effectué.

Pour changer la temporisation avant l’économie d’énergie

Il est possible de changer la temporisation avant l’économie d’énergie.

Appuyer sur la touche ZOOM pour sélectionner la temporisation voulue avant l’économie d’énergie.

- L’affichage change dans l’ordre suivant.
  105 → 70 → 50 → 35 → 105 → . . .
  Pour plus de détails sur l’affichage et la temporisation sélectionnée, voir le tableau suivant.

Témoin	Temporisation avant l’économie d’énergie
105	30 secondes (60 minutes)
70	3 minutes (60 minutes)
50	30 minutes (60 minutes)
35	Pas de temporisation (pas de temporisation)

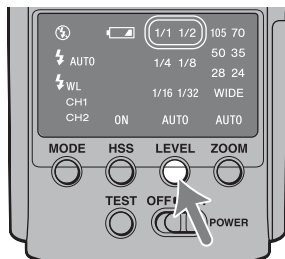
La durée indiquée entre parenthèses est celle valide lorsque l’unité flash est réglée en mode de flash sans cordon.

- La temporisation avant l’économie d’énergie lorsque l’unité flash est réglée sur sans cordon est différente de tous les autres modes.
  Exemple : lorsque la temporisation de l’économie d’énergie passe de « 35 » (pas de temporisation) à « 105 » (30 secondes), la temporisation de l’économie d’énergie pour le mode flash sans cordon passe automatiquement de « Pas de temporisation » à « 60 minutes ».

Suite à la page suivante

Pour changer le mode d’enregistrement compatible avec le mode de flash manuel (M)

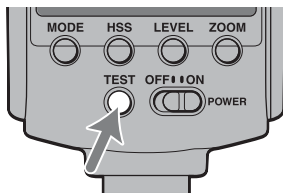
Appuyer sur la touche LEVEL pour sélectionner le mode d’enregistrement compatible avec le mode de flash manuel.

- Le niveau de puissance passe de 1/1 à 1/2 à chaque pression sur la touche LEVEL.
  1/1: (correspond uniquement au mode M de l’appareil)
  1/2: (correspond à tous les modes de l’appareil)
- Pour plus de détails sur le niveau de puissance, voir page 25.

- Lorsque « 1/2 » est sélectionné, il est possible d’utiliser les photographies en mode de flash manuel pour tous les modes d’enregistrement de votre appareil. Il est possible que l’exposition correcte ne soient pas obtenue pour les autres modes que le mode M. Il est donc conseillé de régler l’appareil en mode M.

Pour changer la luminosité de l'écran d'affichage

La luminosité de l'écran d'affichage peut être réglée sur deux niveaux.

Appuyer sur la touche TEST pour sélectionner la luminosité de votre choix.

- La luminosité change comme suit.
  Claire → Sombre → Claire → . . .

- Vérifiez l'état de l'unité flash afin de confirmer la modification du réglage personnalisé, puis appuyez sur la touche TEST.
  Le test du flash clignote lorsque vous appuyez sur la touche TEST si l'unité flash est réglée sur tout mode autre que le mode réglage personnalisé.

Portée du flash

Lors de l’utilisation du mode flash normal

Il est possible d’obtenir une portée de flash correcte pour une prise de vue normale, comme lors de l’utilisation du flash en mode de programmation automatique (P) ou du flash manuel (M), etc., à l’aide du tableau nombre guide suivant et d’un coefficient de vitesse ISO.

Nombre guide

Format 35 mm ou flash manuel (ISO100)

Niveau de puissance	Réglage de la couverture du flash (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/1	13	23	23	25	30	35	42
1/2	9,2	16,3	16,3	17,7	21,2	24,7	29,7
1/4	6,5	11,5	11,5	12,5	15,0	17,5	21,0
1/8	4,6	8,1	8,1	8,8	10,6	12,4	14,8
1/16	3,3	5,8	5,8	6,3	7,5	8,8	10,5
1/32	2,3	4,1	4,1	4,4	5,3	6,2	7,4

* Lorsque l’adaptateur grand-angle est monté.

Format APS-C (ISO100)

Niveau de puissance	Réglage de la couverture du flash (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/1	13	25	26	30	35	38	42
1/2	9,2	17,7	18,4	21,2	24,7	26,9	29,7
1/4	6,5	12,5	13,0	15,0	17,5	19,0	21,0
1/8	4,6	8,8	9,2	10,6	12,4	13,4	14,8
1/16	3,3	6,3	6,5	7,5	8,8	9,5	10,5
1/32	2,3	4,4	4,6	5,3	6,2	6,7	7,4

* Lorsque l’adaptateur grand-angle est monté.

Coefficient de vitesse ISO

ISO100	ISO200	ISO400	ISO800	ISO1600	ISO3200
1	1,4	2	2,8	4	5,7

Portée de distance de prise de vue = Nombre guide × Coefficient de vitesse ISO ÷ Ouverture

Ex) Format 35 mm ou flash manuel, niveau de puissance : 1/1, distance focale : 35 mm, ouverture : F4, ISO : 400
25 (Nombre guide) × 2 (Coefficient de vitesse ISO) ÷ 4 (Ouverture) = 12 m
L'éclair du flash atteint 12 m.

Lors de l'utilisation du flash plat HSS (flash avec HSS)

La portée du flash devient plus faible que celle d'une prise de vue avec le flash normal lorsque la synchro haute vitesse est utilisée. Il est possible d'obtenir la portée du flash adéquate en utilisant le tableau du nombre guide suivant et le coefficient de vitesse ISO.

Nombre guide

Format 35 mm ou flash manuel (ISO100)

Vitesse d'obturation	Réglage de la couverture du flash (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/250	4,7	8,8	9,1	9,5	10,9	13,4	16,4
1/500	3,3	6,2	6,4	6,7	7,7	9,5	11,6
1/1000	2,4	4,4	4,5	4,7	5,5	6,7	8,2
1/2000	1,7	3,1	3,2	3,4	3,9	4,7	5,8
1/4000	1,2	2,2	2,3	2,4	2,7	3,4	4,1
1/8000	0,8	1,6	1,6	1,7	1,9	2,4	2,9
1/12000	0,6	1,1	1,1	1,2	1,4	1,7	2,1

* Lorsque l'adaptateur grand-angle est monté.

Suite à la page suivante

Format APS-C (ISO100)

Vitesse d’obturation	Réglage de la couverture du flash (mm)						
	16*	24	28	35	50	70	105
1/250	4,7	9,7	10,0	10,9	13,4	15,0	16,4
1/500	3,3	6,8	7,1	7,7	9,5	10,6	11,6
1/1000	2,4	4,8	5,0	5,5	6,7	7,5	8,2
1/2000	1,7	3,4	3,5	3,9	4,7	5,3	5,8
1/4000	1,2	2,4	2,5	2,7	3,4	3,8	4,1
1/8000	0,8	1,7	1,8	1,9	2,4	2,7	2,9
1/12000	0,6	1,2	1,3	1,4	1,7	1,9	2,1

* Lorsque l’adaptateur grand-angle est monté.

Coefficient de vitesse ISO

ISO100	ISO200	ISO400	ISO800	ISO1600	ISO3200
1	1,4	2	2,8	4	5,7

Portée de distance de prise de vue = Nombre guide × Coefficient de vitesse ISO ÷ Ouverture

Ex) Lors de l’utilisation d’un format APS-C, vitesse d’obturation : 1/500 secondes, distance focale : 28 mm, ouverture : F2,8, ISO : 400

7,1 (Nombre guide) × 2 (Coefficient de vitesse ISO) ÷ 2,8 (Ouverture) = 5 m

L’éclair du flash atteint 5 m.

Remarques sur l'utilisation

En prise de vues

- Cette unité flash émet des éclairs puissants et ne doit donc pas être dirigée directement vers les yeux.
- Ne pas utiliser le flash 20 fois successives ou rapprochées afin d'éviter une surchauffe et une dégradation de l'appareil photo et de l'unité flash (lorsque le niveau de puissance est 1/32, 40 fois successives).
  Si le déclenchement du flash atteint sa limite, ne plus utiliser l'unité flash et la laisser refroidir pendant au moins 10 minutes.
- Monter l'appareil photo lorsque l'unité flash est éteinte.
  Si vous n'agissez pas ainsi, cela pourrait provoquer un dysfonctionnement de l'unité flash ou l'application d'une luminescence erronée, et une lumière puissante peut détériorer la vue.

Piles

- Le niveau de charge affiché sur le panneau de commande peut être inférieur à la capacité de charge réelle, selon la température et les conditions de stockage. Le niveau affiché revient à sa valeur correcte une fois que le flash a été utilisé.
- Les piles au nickel-métal hydrure peuvent subitement perdre de leur puissance. Si le témoin de pile faible clignote ou si le flash ne peut plus être utilisé, changer ou recharger les piles.
- Selon l'âge des piles neuves (durée de stockage après fabrication), la durée et le nombre d'éclairs obtenus avec des piles neuves peut différer des valeurs indiquées dans le tableau.
- Ne retirer les piles pour les changer que lorsque l'appareil photo est éteint depuis plusieurs minutes. Elles peuvent être chaudes, selon le type de pile. Les retirer avec précaution.
- En cas de non utilisation prolongée de l'appareil photo, enlever les piles.

Suite à la page suivante

Température

- L’unité flash peut être utilisée à une température comprise entre 0 et 40 °C.
- Ne pas exposer l’unité flash à des températures extrêmement élevées (exposition directe au soleil dans une voiture par ex.) ou à une forte humidité.
- Afin d’éviter la formation de condensation, placer le flash dans un sac en plastique fermé lorsqu’il doit passer d’un endroit froid à un endroit chaud. Le laisser reprendre la température de la pièce avant d’ouvrir le sac.
- L’autonomie des piles diminue lorsqu’il fait très froid. Dans ces conditions, conserver les piles de rechange dans une poche lors de prise de vues par temps froid. Lorsqu’il fait froid, le témoin de piles faibles peut clignoter même si les piles disposent encore de suffisamment d’énergie. Elles peuvent retrouver une partie de leur potentiel une fois que la température revient à un niveau normal.
- Cette unité flash n’est pas étanche. L’utiliser avec précaution à proximité de l’eau et du sable, par exemple au bord de la mer. Tout contact avec l’eau, le sable, la poussière ou le sel peut entraîner un dysfonctionnement.

Entretien

Retirer cette unité de l’appareil photo. Nettoyer le flash avec un chiffon doux et sec. S’il a été en contact avec du sable, souffler d’abord les grains avec une soufflette avant de l’essuyer. En cas de taches tenaces, le nettoyer avec un chiffon légèrement humidifié avec une solution détergente douce puis essuyer avec un chiffon sec. Ne jamais utiliser de solvants puissants comme du dissolvant ou de l’essence, car ils pourraient endommager la finition de la surface.

Caractéristiques

Nombre guide

Mode flash normal (ISO100)

Réglage de la couverture du flash (mm)		16*	24	28	35	50	70	105
GN	Flash manuel/ format 35 mm	13	23	23	25	30	35	42
	Format APS-C	13	25	26	30	35	38	42

* Lorsque l'adaptateur grand-angle est monté

Fréquence/Répétition

	Alcaline	Nickel hydrure (2500 mAh)
Fréquence (s.)	0,1 - 3,7	0,1 - 2,7
Répétition (nombre)	Environ 180 ou plus	Environ 260 ou plus

- La répétition est le nombre approximatif de fois possibles avant qu'une pile neuve soit complètement inutilisable.

Performance du flash en continu — 40 cycles en continu de 5 éclairs par seconde (Mode flash normal, niveau de puissance 1/32, 105 mm, pile au nickel-métal hydrure)

Illuminateur AF — Mode flash automatique avec un contraste et une luminosité faibles
Plage de fonctionnement (avec un objectif de 50 mm fixé à DSLR-A700)
Zone centrale : 0,5 m à 6 m
Zones périphériques : 0,5 m à 3 m

Contrôle de flash — Contrôle de flash avec le pré-flash, la mesure TTL directe

Dimensions (environ) — L 75 × H 123 × P 100 mm (3 × 4 7/8 × 4 pouces)

Poids (environ) — 340 g (12 onces) (sans les piles)

Piles recommandées — Piles alcalines type AA
Piles au nickel-métal hydrure rechargeables type AA

Articles inclus — Unité Flash (1), Mini-support (1), Étui (1), Jeu de documents imprimés

Suite à la page suivante

Les fonctions présentes dans ce mode d’emploi dépendent des conditions de test au sein de notre entreprise.
La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Marque commerciale

α est une marque commerciale de Sony Corporation.